

14. 21-373



1200501159321

21

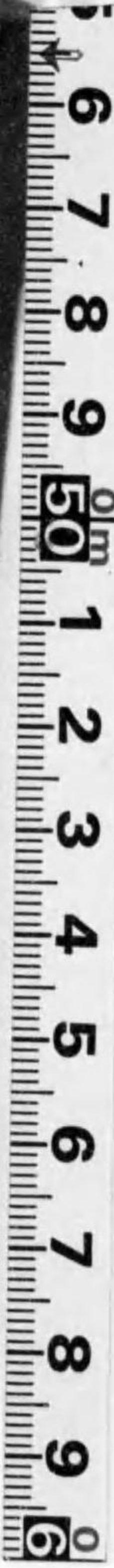
373

二年六月

局報第五十四號

世界主要國ニ於ケル化學肥料ノ需給狀況

農林省農務局



始



緒言

本書ハ一九二四年羅馬萬國農事協會ノ出版ニ係ル「世界ニ於ケル化學肥料ノ生産ト消費」並同協會ノ農事統計ヲ基本トシテ編纂セルモノニシテ世界主要國ニ於ケル化學肥料ノ需給狀況ノ大要及戰時並後各國政府ノ採リタル肥料供給方策又ハ各國肥料界ノ新計畫及勢三月共ノ概要ヲ記述セルモノナリ

昭和二年六月



農林省農務局

世界主要國ニ於ケル化學肥料ノ需給狀況

目次

第一章	世界各國ニ於ケル化學肥料ノ需給狀況	一七
一	生産	一
二	貿易	七
三	消費	九
第二章	世界主要國ニ於ケル化學肥料ノ需給狀況	二二
一	英吉利	二
二	亞米利加合衆國	三
三	獨逸	四
四	佛蘭西	五
五	伊太利	七

凡例

一噸ハ一〇〇〇斤
 戰前ハ普通一九一三年ヲ意味ス
 戰後ハ普通一九二二年後ヲ意味ス
 最近ハ普通一九二五年ヲ意味ス
 年次ハ肥料年次乃チ六月一日ニ初マリ翌年五月三十一日ニ終ル

第一章 世界各國ニ於ケル化學肥料ノ需給狀況

一、生産



世界ニ於ケル化學肥料ノ生産狀況ハ歐洲大戰ヲ轉換期トシテ戰後各方面ニ於テ大ナル變化ヲ來セリ。今戰前戰後ニ於ケル生産狀況ノ大要ヲ述ブレバ左ノ如シ。

磷酸肥料ハ過磷酸石灰、速效磷酸、並ニ磷礦石ニ就キ窒素肥料ハ硫酸安母尼亞、石灰窒素、硝酸硝石、智利硝石ニ就キ記述シ、加里肥料ハ之ヲ區分セズ。

磷礦石ノ生産ハ戰前總額七百二十萬噸ニ達シ戰後一九二二年ニハ五百六十萬噸ニ減少シタル也。其後次第ニ増加シ一九二五年ニ於テハ八百八十萬噸トナリ戰前ヲ凌駕スルニ至リタル也。此増加ハ各生産地ノ増加ニ依ルモノナレド主トシテ並米利加合衆國、チユニイス、アルゼンチン等ノ主要産地ニ於ケル増産ニ起因ス。

過燐酸石灰ノ生産モ磷礦石ノ生産ト同一傾向ヲ辿リ戰前ノ産額一千三百三十萬噸ニ對シ、一九二二年ニハ八百八十萬噸ニ減少シタル也。各國ニ就イテ之ヲ觀ルニ戰前ニ比シ著シク減少セルハ独逸ニシテ戰前百八十萬噸ヲ生産シタルニ一九二五年ニ於テハ六十六萬噸乃チ約三分ノ一ニ削減シタル也。之ニ反シ増加セルハ佛蘭西、伊太利、並米利加合衆國、濠洲太利等ニシテ殊ニ佛蘭西伊太利ニ於テハ戰前ニ比シ一九二五年ニ於テ約四十萬噸余ノ増産ヲ示シタル也。

速益燐肥ハ戦前ノ生産額四百四十万噸ニ対シ一九二二年ハ二百七十万噸ニ減少シ、一九二五年ノ生産額ハ不詳、モノヲ除キタル合計数量三百三十万噸ナルヲ以テ全生産額ヲ推算スル時ハ大畧四百三十四万噸ヲ出テザルベシ。之ハ速益燐肥ハ製鉄工業ノ副産物ナルヲ以テ世界大戦後製鉄工業ノ不振ニ伴ヒ速益燐肥ノ生産モ亦萎縮状態ニ在ルモノナリ。

加里肥料ハ殆ンド全部独逸ニ於テ生産セララルモノニシテ其ノ生産額ハ戦前百三十万噸ハ無水加里トシテ)ニシテ一九二五年ニ於テハ百二十万噸ナリ。大戦後アルサス州ヲ佛蘭西ハ移讓セシニ依リ、一九二五年ニ於ケル佛蘭西ノ生産額ハ三十一万噸(無水加里トシテ)ヲ示セリ。其ノ他波蘭上、豆米利如合衆國、英領印度ニ於テモ戦後多少生産スルニ至リタレド独逸ノ生産額百二十万噸ニ比スル時ハ問題トスルニ足ラス。世界ノ總生産額ハ無水加里トシテ戦前約百四十万噸ニシテ一九二五年ニ於テハ百六十万噸トナリ多少増産シタレドモ大ナル發展トハ認メラレズ、之ハ独逸加里シンジケートノ加里塩生産調節策ニ依リ其ノ生産額ヲ防止スルヲ以テナリ。

智利硝石ノ生産額ハ戦前二百七十七万噸ナリシモ一九二二年ニハ、二百五十二万噸トナリ漸ク戦前ニ接近スルニ至レリ。然レドモ戦後異常ナル発達ヲナセル空中窒素固定肥料ノ消費増加ハ次第ニ智利硝石ヲ壓迫シ、往年隆盛ヲ極メシ智利硝石モ近來漸ク衰亡ノ兆ヲ表ヘシツツアリ。

硝酸硝石ハ戦前ノ生産額七万噸ヨリ漸次増加シ、一九二五年ニ於テハ、十九万噸ニ及ベリ。然レドモ窒素肥料全局ヨリ觀ル時ハ小部分ニ過ギズ其ノ影響モ亦僅少ナリ。

石灰窒素ノ生産額ハ戦前十七万噸ナリシガ、戦後急速ナル発達ヲナシ一九二二年ニハ、七十万噸ヲ産シ一九二五年ニハ、七十五万噸ニ達スルニ至レリ。此ノ中主要生産國ハ独逸ニシテ一九二五年ニ於テ約三十五万噸乃チ其ノ大半ヲ占メ、日本之ニ次ギテ二十万噸ヲ生産ス。化学肥料中最モ急速ナル発達ヲ遂ゲ、尙發展シツツアルハ合成硫酸安母尼亞ニシテ、戦時中一ト度同法発見セララルヤ世界ノ窒素肥料界ニ劃時代的影響ヲ與ヘ今ヤ其ノ生産額副生硫酸安母尼亞ト相半バスルニ至レリ。前者各々ノ生産額ハ明カナラザルヲ以テ今兩者ノ合計數量ニ就キテ觀ルニ一九一三年ニハ、百三十八万噸、一九二二年ニハ、二百二十万噸、一九二五年ニハ約三百二十万噸ト急速ナル發展ヲナシツツアリ。此ノ中最大生産國ハ独逸ニシテ一九二五年ニハ約百八十万噸乃チ世界生産額ノ大半ヲ生産シタリ。而シテ独逸ノ硫酸安母尼亞ハ殆ンド全部合成法ニ依ルモノナリ。之ニ次グモノハ英吉利、亞米利加合衆國ニシテ兩者共主トシテ副生硫酸安母尼亞ヲ生産ス。

之ヲ要スルニ燐酸肥料ノ生産額ハ戦前ニ比シ戦後減少セル速益燐肥ヲ除キ、他ハ増加ノ跡ヲ認め得ルモ急激ナル發展ヲナセルモノトハ稱シ得ズ。加里肥料ハ独逸ノ生産調節ニ依リ支配サレ戦前同様狀ヲ示シツツアリ。而ルニ窒素肥料ニ於テハ合成硫酸安母尼亞ノ生産ハ、戦後顯著ナル発達ヲ遂ゲ他ヲ壓倒スルノ狀況ニシテ此レカ為メ智利硝石ノ如キハ最も不況ニ陥リ、副生硫酸安母尼亞モ亦相當打撃ヲ蒙リツツアルモノノ如シ。

世界ニ於ケル化学肥料ノ生産數量

一、 燐酸肥料ノ生産數量

國名	一九一三年	一九二五年	過燐酸	石炭	一九一三年	一九二五年	遠	一九一三年	一九二五年
歐洲	一九一三年	一九二五年	一九一三年	一九二五年	一九一三年	一九二五年	一九一三年	一九二五年	
獨逸			一、八一八、七〇〇	六六〇、〇〇〇	二、二五〇、〇〇〇	一、三四二、四八〇			
オーストリア			四〇〇、〇〇〇		五〇、八〇〇				
白耳義	二、一七〇、四二〇		四、五〇〇、〇〇〇		六、五五〇、〇〇〇				
デンマーク			九〇、〇〇〇						
西班牙	三、五四八		二、五〇〇、〇〇〇		七、三〇〇、〇〇〇				
佛蘭西	二、九八八、八五九		一、九二〇、〇〇〇	二、五八〇、五四二	四〇四、〇〇〇	一、一三六、二〇〇			
英吉利			八二〇、〇〇〇	四〇七、四三五	四〇四、〇〇〇	二、六九〇、五五二			
伊太利			九七二、三一七	一、四六五、〇〇〇		四、六二二、六九五			
ルクセンブルク									
和蘭	七五七		三、四六、〇〇〇	五七二、〇〇〇					
チリ				二〇一、九四四					
波蘭			二七、〇〇〇	一九二、四〇九		一、三二八、二四一			
瑞西			一、二六、〇〇〇	二七、〇〇〇		二、〇七、二二五			
匈牙利			一、五八、三〇〇	一〇〇、〇〇〇					
ノルウェー	二五、〇〇〇		一、八四、二五九	六二、四六〇					
瑞典									
亞米利加									
加奈陀	三、四九								
亞米利加合衆國	三、一六一、一四六		三、二四八、〇〇〇	三、四八九、三九七					
佛領ギアナ	三、一九三								

國名	一九一三年	一九二五年	一九一三年	一九二五年	一九一三年	一九二五年
蘭領西印度	三、四、七七一	八、一、七七一				
亞細亞	一、五二、四一〇	一、一、八三四				
印度支那	一、九、〇四五	三〇、二三六				
日本		一〇〇、九九一		五、一三、八六八		六、七二、九五七
亞非利加		七、一六、六三二				
アルゼンチン	四、六一、〇三〇	一〇、六、八〇八				
エジプト	一〇、四、四五〇					
マダガスカル		六、九、二一八				
モロッコ		二、五、三、七〇〇				
チユニス	二、一七〇、四九六					
大洋洲						
オーストラリア	六、〇、四五			三、六、八二七		八、三、一、七七〇
アンガウル	九、〇、〇〇〇	六、五、〇八九				
マカテア	八、二、〇五七	八、一、〇六一				
オーストラリア	三、五、五、六一六	四、八、一、三四八				
ニュージーランド	一、一、一、七六					
合計	七、一、八〇、七五三	八、八〇、七、三一九	一、一、三〇、九、二七一	一、一、七、八、五、八〇五	四、四〇、七、一、五四	三、三、六、九、五、九三

ニ、加里肥料ノ生産 (無水加里トシテ)

(一) ハグレートブリテンノミナリ。印ハ不詳。

年次	一九一三年	一九二五年
----	-------	-------

國名	硫酸安母尼亞	石炭	窒素	ノールウエ	硝石	智利	硝石
歐洲	一九一三年 一、九一三、〇〇〇	一九一三年 一、九一三、〇〇〇	一九二五年 三、五〇〇、〇〇〇	一九一三年 一、九一三、〇〇〇	一九二五年 一、九一三、〇〇〇	一九一三年 一、九一三、〇〇〇	一九二五年 一、九一三、〇〇〇
北アフリカ	三、五〇〇、〇〇〇	四、八、五〇〇	三、五〇〇、〇〇〇				
南アフリカ	四、八、六〇〇						
南米	二、八〇〇、〇〇〇						
西米	一、五、〇〇〇						
佛蘭	七、四、五〇〇	一、一、七、〇〇〇	五、五、〇〇〇				
英	四、三、八、九、三、三	一、四、九、八、二	四、七、〇、〇〇〇				
伊太	一、三、四、八						
和蘭	七、〇〇〇						
波蘭	一、二、四、七〇		八、五、七、五〇				
土							
合計	一、三、九、八、五、四、四						

(一) アルサスノ生産、乃チ他國ノ生産ヲ含ム。

三、窒素肥料ノ生産

國名	硫酸安母尼亞	石炭	窒素	ノールウエ	硝石	智利	硝石
歐洲	一九一三年 一、九一三、〇〇〇	一九一三年 一、九一三、〇〇〇	一九二五年 三、五〇〇、〇〇〇	一九一三年 一、九一三、〇〇〇	一九二五年 一、九一三、〇〇〇	一九一三年 一、九一三、〇〇〇	一九二五年 一、九一三、〇〇〇
北アフリカ	三、五〇〇、〇〇〇	四、八、五〇〇	三、五〇〇、〇〇〇				
南アフリカ	四、八、六〇〇						
南米	二、八〇〇、〇〇〇						
西米	一、五、〇〇〇						
佛蘭	七、四、五〇〇	一、一、七、〇〇〇	五、五、〇〇〇				
英	四、三、八、九、三、三	一、四、九、八、二	四、七、〇、〇〇〇				
伊太	一、三、四、八						
和蘭	七、〇〇〇						
波蘭	一、二、四、七〇		八、五、七、五〇				
土							
合計	一、三、九、八、五、四、四						

(6)

國名	硫酸安母尼亞	石炭	窒素	ノールウエ	硝石	智利	硝石
歐洲	一九一三年 一、九一三、〇〇〇	一九一三年 一、九一三、〇〇〇	一九二五年 三、五〇〇、〇〇〇	一九一三年 一、九一三、〇〇〇	一九二五年 一、九一三、〇〇〇	一九一三年 一、九一三、〇〇〇	一九二五年 一、九一三、〇〇〇
北アフリカ	三、五〇〇、〇〇〇	四、八、五〇〇	三、五〇〇、〇〇〇				
南アフリカ	四、八、六〇〇						
南米	二、八〇〇、〇〇〇						
西米	一、五、〇〇〇						
佛蘭	七、四、五〇〇	一、一、七、〇〇〇	五、五、〇〇〇				
英	四、三、八、九、三、三	一、四、九、八、二	四、七、〇、〇〇〇				
伊太	一、三、四、八						
和蘭	七、〇〇〇						
波蘭	一、二、四、七〇		八、五、七、五〇				
土							
合計	一、三、九、八、五、四、四						

(7)

備考 (一) ハグレート、プリテンノミナリ。……印ハ不詳。

二、貿易

戦前世界ニ於ケル燐磁石ノ輸出総額ハ四百六十五万噸ナリシガ最近ニ於テハ五百九十七万噸ニ達シ、二割ニ分ノ増加ヲ示セリ。燐磁石ノ主要ナル輸出國ハチユニイス、亞米利加合衆國、アルゼリー、モロツコ、ナウル

オーストリア等ニシテ之等ノ中チユニイヌ群ヲ抜き最近ニ於ケル輸出数量ハ二百五十七万噸ニ達シ世界ニ於ケル輸出全量ノ殆ンド半量ニ當レリ。

輸入國中第一位ニアルハ佛蘭西ニシテ最近ニ於テハ百三十万噸ニ達シ伊太利次ニ位シ八十三万噸、独逸、西班牙、和蘭陀、白耳義等之ニ次ギ各々三、四十万噸内外ヲ輸入ス。

過燐酸石灰ノ全輸出量ハ戰前百二十万噸ナリシガ、最近ニハ、百一十一万噸ニ減少セリ。過燐酸石灰輸出量ノ最も多キハ和蘭陀ニシテ最近ニ於テハ其ノ燐酸石灰ノ輸入量ハ三十三万噸ニ達シタルニ實ニ三十八万噸輸出シタリ。

佛蘭西之ニ次ギ二十三万噸、白耳義十七万噸輸出ス。輸入國中首位ニ在ルハ丁林ニシテ十四万噸輸入シ西班牙之ニ次ギ、輸出國トシテ第一位ニアル和蘭陀ハ輸入國トシテモ第三位ニ在リ。

遠益燐肥ノ全輸出量モ過燐酸石灰ト同様ノ傾向ヲ示シ戰前ノ百七十七万噸ヨリ最近百六十九万噸ニ減少シタリ。現時輸出量最も多キハ白耳義ニシテ八十万噸ニ達シ佛蘭西、チエツクスロヴァキヤ之ニ次ギ戰前七十一万噸ヲ輸出シ第一位ニ在リシ独逸ハ最近ニ於テハ七十九万噸輸入シ輸入國中ノ首位ニ在リ。

独逸ニ次ギテハ和蘭陀、波蘭土、瑞西等ヲ主ナル輸入國トス。別表ニ示スガ如ク遠益燐肥ノ輸出入ハ殆ンド全部政洲内ニ限ラレ、政洲ニ於ケル輸入國ハ、十九ヶ國ニ及ブニ對シ、亞細亞洲ニ於テハセイロンニ僅カニ、三千噸輸入シタルノミニンテ、其ノ他南亞聯邦、ニュージイランドニモ輸入セラレタルモ其ノ量少シ。

加里肥料ハ殆ンド全部独逸ヨリ輸入セララルモノニシテ戰前ニ於ケル各種加里肥料ノ輸出總量ハ二百十八万噸ナリシガ戰時中ハ皆無トナリ其ノ後漸次恢復ニ向ヒ最近ニ於テハ、百四

十八万噸トナレリ。之ヲ種類別ニ見ルニ戰前、カイニツト及カーナリツト輸出量ハ輸出總量ノ五割餘ヲ占メ、肥料用加里ハ僅カニ割ニ過ギザリシニ、戰後ニ於テハ前者ハ二割ニ減少シタルニ對シ後者ハ五割餘ニ増加シタリ。尚大戦後ハ佛蘭西ニ於テモ相當輸出スルニ至リ、最近ニ於テハ約七十一万噸ノ塩化加里ヲ輸出シタリ。其他各國ニ於テモ輸出セララルモノ多クハ再輸出ニシテ其ノ量モ独逸、佛蘭西ニ比スレバ尠クナルニ足ラズ。

加里肥料ノ最大輸入國ハ亞米利加合衆國ニシテ最近ニ於テハ各種加里肥料ノ輸入總量ハ、八十四万噸ニ達シ、和蘭陀、四十一万噸、白耳義ノ三十五万噸、英吉利ノ十七万噸等之ニ次ギ其ノ他世界各國ニ於テ輸入セラル。

智利ノ硝石、輸出量ハ戰前二百七十四万噸ニ界リ隆盛ヲ極メシガ戰時中ハ輸出殆ンド杜絶シ戦後漸次恢復ノ途ニ向ヒ最近ニ於テハ、二百二十四万噸トナレリ。然レドモ此期間中ニ於ケル世界ノ窒素肥料ノ消費量ハ殆ンド二倍トナレルヲ以テ如何ニ智利硝石ガ不振ノ状態ニアルカヲ知り得ベシ。

智利硝石ノ主要ナル輸入國ハ亞米利加合衆國、佛蘭西、埃及、和蘭陀、白耳義、西班牙、伊太利、波蘭土等ニシテ、此ノ中亚米利加合衆國群ヲ抜き、最近ノ輸入量ハ、百十三万噸ニ及ビ實ニ智利輸出總量ノ半数以上ニ當レリ。而ルニ独逸ハ戰前ニ於テ七十七万噸ヲ輸入シ世界最大ノ輸入國ナリシガ最近ニ於テハ、二十万噸ヲ輸入シタルニ過ギズ。

之ハ独逸ノ空中窒素固定工業ノ隆盛ニ伴ヒ驅逐セラレタルガ爲メナリ。而シテ今ヤ各國共此ノ独逸ノ例ニ倣ヒ自國內ニ空中窒素固定工業ヲ興テ自給自足ヲ圖ラントシツツアルヲ以テ智利硝石ノ前途ハ衰微ノ傾向ニアルモノノ如シ。

化學肥料ノ貿易中最モ大ナル發達ヲ遂ゲタルハ硫酸安母尼亞ニシテ戰前世界ニ於ケル輸出
 量ハ、四十七万噸ナリシガ最近ニハ、八十二万噸トナリ殆ソド倍加セリ。主ナル輸出國ハ
 英吉利、亞米利加合衆國ニシテ他國ハ合成硫酸安母尼亞ヲ輸出シ、英吉利、亞米利
 加合衆國ハ副製硫酸安母尼亞ヲ輸出ス。大戰中他國ハ大藥原料及肥料用トシテ窒素化合物
 ノ缺乏ニ苦シミツツアリシガ、合成安母尼亞法ノ成功シテ以來、各地ニ工場ヲ建設シ擴張
 ニ擴張ヲ重ネ生産増加ヲ図レリ。而シテ戰後大藥原料トシテノ消費ハ全ク總エタルガ爲メ
 此種副生産物ヲ低廉ナル價格ヲ以テ世界市場ニ供給スルニ至リ、遂ニ今日ノ隆盛ヲ來セリ。
 今最近ノ輸出數量三十四万噸ヲ國別ニ見ルニ、日本最モ多ク十四万噸ニシテ、和蘭陀、丁
 林、西班牙等ニ次グ。
 英吉利ノ最近ノ輸出量ハ二十六万噸ニシテ主ナル輸出先ハ西班牙ハ九万六千噸日本ハ四万
 噸ジアラアヘニ万六千噸ナリ。亞米利加合衆國ノ最近ノ輸出量ハ、十二万噸ニシテ日本ハ
 一輸出最モ多ク五万二千噸ニ及ビ、ジアラア、フィリピン、政馬等ノ南洋諸島ヘノ輸出モ
 相當ニ達ス。
 世界ニ於ケル化學肥料ノ貿易（一九二五年）

一、磷酸肥料

國名	磷酸		硫酸		遠東	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
英吉利	438	599,375	45,742	39,970	7,511	7,047
亞米利加	1,990	1,990	32,844	32,533	1	32,433
和蘭陀						
西班牙						
日本						
南洋諸島						
其他						
合計	2,428	1,989,375	78,586	72,503	7,512	7,054

國名	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
英吉利	6,647	3,263	1,762	27,098	802	9,536
亞米利加	1,268	1,268	6,131	1,473	13,944	1,394
和蘭陀	3,974	3,974	1,465	1,755	1,755	1,755
西班牙	3,058	1,395	2,293	2,293	3,923	3,923
日本	1,355	1,355	1,897	1,897	1,897	1,897
南洋諸島	1,355	1,355	1,897	1,897	1,897	1,897
其他	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300
合計	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400

硫酸安母尼亞ノ國別輸出(一九二五年)

輸出入國	輸出	輸入	輸出	輸入
獨逸	三、三〇五	一、三〇五	四八八	一、二〇二
自耳	三、三〇五	一、三〇五	四八八	一、二〇二
丁林	三八、四三六	一、四七七	一、四七七	一、四七七
和蘭	八八、二六〇	七、〇七七	七、〇七七	一、四七七
佛蘭	一	一	一	一
伯刺南西	三、八三二	一、一三九	一、一三九	一、一三九
加奈陀	二〇、〇六七	一、一三九	一、一三九	一、一三九
聖米利加魯國	九、一八八	一、一三九	一、一三九	一、一三九
ペル	二、二四四	一、一三九	一、一三九	一、一三九
管利	二、二四四	一、一三九	一、一三九	一、一三九
セイロン	二、二四四	一、一三九	一、一三九	一、一三九
英領印度	四、一一八	一、一三九	一、一三九	一、一三九
蘭領東印度	四、一一八	一、一三九	一、一三九	一、一三九
日本	三、八〇〇	一、一三九	一、一三九	一、一三九
炭及	一、七三三	一、一三九	一、一三九	一、一三九
レユニオン	一、六〇〇	一、一三九	一、一三九	一、一三九
南亞群邦	一、六〇〇	一、一三九	一、一三九	一、一三九
濠洲太利	九、二八九	一、一三九	一、一三九	一、一三九
三ニシヤ	一、三四五	一、一三九	一、一三九	一、一三九
合計	二、三〇七、四八九	八、二〇、三〇八	七、三〇、七三七	七、三〇、七三七

國名	輸出	輸入	輸出	輸入
獨逸	一五、四三八	二四、五二七	三四四、三八〇	三二一、一七
奧地利	三六	四、七一九	四四七	五二五
白耳義	一、二七〇	一五〇、三六三	九、六四四	二七、二三五
ブルガリ	一	六三〇	一	一
丁林	一	五五、一七二	一	三九、二〇七
西班牙	一	九四、三七〇	一	九〇、七八八
フィンランド	一	六、八一三	一	一、二五、八四〇
佛蘭西	三、一三七	八二、六三〇	八、八六二	一、〇二一
大ブリティン	一、五一二	八二、六三〇	一、五七一	一、〇二一
アイルランド	一	九一五	一	一、〇二一
伊太利	三四	六四、三〇九	六	二一、七一
レトニ	一	五九五	一	一、〇二一
諾威	三一、一八	六九	一七六	一
和蘭	一、六七〇	一三九、七二五	二八、一八〇	六九、〇九七
波蘭	一	五六、七七三	四、五三〇	三三
ルーマニヤ	一	三五二	一	一
瑞典	一	一、五八〇	五、八七八	二、二四〇
デンマーク	一	一、五八〇	一	一
ソウェット群邦	一	七、三二二	一	一
アルゼンチン	一	一、〇九九	一	一

西班	牙	一九、五二三	九六、八五〇	四、一一二
伊太	利		一〇、四八〇	
匈	牙		二、四六〇	
カナ	島		一六、二九四	
埃	本		一、五〇八	
日	本	一四二、六〇九	米 四二、八二二	五二、四二一
アイル	自由		一三、五一〇	
チヤン	諸島		一、五四八	
マウ	諸島		七、七一〇	
セイ	諸島		五、二四一	
香	港		七、八八〇	三、〇一八
美領	諸島		四、五七一	
英領	諸島		五、七四〇	二七三
其	諸島		二、五八六	
ツ	諸島		二六、六七四	四三、一〇〇
マ	諸島			六、〇八八
チ	諸島			
重	諸島			
フ	諸島			
其	諸島			
合	計	三四四、三八〇	二六二、二六二	一一三、一四一

備考 *印ハ台湾及廣東州ヲ含ム

三、消費

最近ノ世界ニ於ケル主要化學肥料消費量ヲ燐酸、加里、窒素ノ三成分ヲ以テ示シ、約燐酸ニ百四十六万噸、加里百二十万噸、窒素百十六万噸ニシテ各國ノ耕地面積一ヘクタール當リノ消費量平均ハ夫々一六、二噸、九、八噸、七、〇噸ノ割合ニアリ。

燐酸肥料ノ成分消費量中絶對量ニ於テハ亞米利加合衆國ノ五十二万噸最多ニシテ、独逸ノ四十五万噸之ニ次ギ、佛蘭西、濠洲、利亞、西班牙、日本等ノ順位ニ在リ。然レドモ一ヘクタール當リ消費量ハ和蘭陀最モ多クシテ實ニ一〇、七噸ヲ示シ、ルクセンブルグ公國モ相當多量ニシテ七、四、三噸トナリ之ニ次ギテハ白耳義、瑞西、独逸、瑞典、丁林、日本ノ順位ニ在リ。

加里肥料ノ成分總消費量最モ大ナルハ独逸ニシテ最近ニ於テハ約六十一万噸ニ達シ全世界消費量ノ半数以上ニ及ビ、亞米利加合衆國、佛蘭西、和蘭陀、白耳義、英吉利之ニ次グ、一ヘクタール當リ消費量ハ和蘭陀ノ八七、四噸一噸地ヲ抜き、独逸ノ二九、七噸、白耳義ノ二八、七噸等ノ順位ニ在リ。

窒素肥料ノ成分總消費量ハ独逸ノ三十五万噸第一位ニ在リ、亞米利加合衆國ノ二十七万噸、佛蘭西ノ十一万噸、日本ノ八万噸之ニ次グ。一ヘクタール當リ消費量ハ之又和蘭陀最大ニシテ三九、二噸ヲ示シ、次イデ白耳義、丁林、独逸、日本ノ順位ニ在リ。

各國ニ於ケル消費量ヲ表示スレバ左ノ如シ。

世界各國ニ於ケル化學肥料ノ消費量(一九二五年)

國名	耕地面積	磷礦肥料消費量	加里肥料消費量	窒素肥料消費量
獨逸	二〇、四八二	四五三、八二九	六〇、八八二	三五二、〇五二
捷地	一、八九六	一〇、二二四	三、八五一	七、六〇八
ブルガリア	三、四七三	一〇、二二四	二、九七三	九、四
自耳義	一、二二〇	三、七、六七六	二、八、七	四一、九一〇
丁林	二、六三〇	五、三、八一	三、五	七、六、二九二
エストニア	一、〇一〇	四、四、七、六	〇、九	三、六、三、一〇
西班牙	一、六、〇三〇	一、三、三、八、八、三	〇、三	一、〇、二、一〇
フィンランド	二、一三二	一〇、三、七、七	二、三	一〇、九、三、六〇
佛蘭西	二、九七三	三、九、七、三、三、五	四、九、八、三	三、七、七、一、八
大俄列國	五、五、一、五	一、一、四、六、九	二、三、七、六、七	三、七、七、一、八
匈牙利	五、四九〇	一、八、一、八	六、一、六	三、一、〇
レトニア	一、六七七	一、一、九、一、五	二、八、七、七	二、七、五、七、三
伊太利	一、二、二、四、四	一、三、二、四、四	九、一、四、七	二、七、五、七、三
ルクセンブルグ	一、一、一、二	八、三、二、八、五	三、一、一、九	四、一、四、六
和蘭	九、二、四	九、三、一、〇、八	八、〇、七、四、一	三、六、二、八、六
波蘭	一、八、三、〇、七	四、九、一、一、一	二、二、一、一、〇	二、三、八、一、八
ルーマニア	一、二、二、六、九	七、八、四、一、〇	一、七、一、九、六	九、八、九、一
瑞典	三、八、〇、七	二、五、四、一、〇	二、〇、五	九、八、九、一
瑞西	五、〇、八	一、四、九、四、二	二、五、四	五、〇、六、八

備考

一、一ヘクタール当りの平均消費量ハ消費シタル國ニシテ平均ノ
 二、成分消費量ハ左記ノ成分表ヲ用ヒテ算出ス。各國ニ於テ消費セララルル各種
 肥料ノ成分含有量ハ調査困難ニシテ左表ハ各種分析表ヲ参照シテ適宜推
 定シタル数字ナリ。

名稱	成分	窒素	磷	加里
過磷酸石灰		一五		
遠近磷肥		一八		
獸骨及骨粉		二〇		
ケアノ		三四		
加里塩				二〇

硫酸安母尼亞	二〇
石灰窒素	一七
智利硝石	一五

第二章 世界主要國ニ於ケル化學肥料ノ需給狀況

一、英吉利

英吉利ノ最近ノ國土面積ハ三十一万平方千米ニシテ、耕地面積ハ其ノ二割四分七万六千平方千米ヲ占ム。耕地面積ノ四割三万平方千米ハ穀類栽培地ニシテ、其ノ他作物栽培地又ハ休閒地ナリ。

家畜頭數ハ三十四百万頭ヲ算シ十平方千米當リ千一百頭ニ當ル。而ルニ人口ハ四千九百万人ニ平方千米當リ實ニ百五十八人ニ達シ七万六千平方千米ノ耕地ヲ以テハ如何ニ集約的農業ヲ行フモ食糧品ハ不足シ大部分海外ニ之ヲ仰テ、既ニ農業國ノ域ヲ脱シ商工業國トシテ立チツツアルナリ。

肥料ノ消費額ハ單位面積ニ對シテハ独逸ニ次イテ多量ニ用ヒラレ、一九二五年ニ於ケル消費狀況ハ大ブリテンノミニテ成分量ヲ以テスレバ、硝酸十一万噸加里三万噸窒素三万七千噸ニシテ各々ノ一ヘクトール當リ消費量ハ硝酸二一、六噸、加里六、五噸、窒素六、八噸ヲ示ス。

燐酸肥料中最モ主要ナルハ過燐酸石灰ニシテ、過燐酸石灰ニ次グ。其ノ他骨粉、獸骨、グアノ等モ消費サルレド其ノ量前二者ニ比スレバ僅少ナリ。

過燐酸石灰ノ生産額ハ戰前八十二万噸ニ達シ隆盛ヲ極メシガ實ノ後次第ニ減退シ一九二二年ニハ五十二万噸トナレリ。然レドモ之ハ戰後輸出不振ノ爲メニシテ消費額ノ減少ハ輸出額ノ減少程甚メシカラズ。

連益燐肥ノ生産額ハ戰前四十万噸ナリシガ戰時中製鉄事業ノ隆盛ニ伴ヒ一九二〇年ニハ五十八万噸ニ達シタリ。而ルニ平和克復ト同時ニ製鉄業モ衰微シ一九二一年ニハ戰前ニ比シ半減シタリ。消費額ハ戰前二十八万噸ナリシガ一九二〇年ニハ最高ニ達シ其ノ後減少シ一九二二年ニハ三十七万噸トナリ戰前ヲ凌駕スルニ至レリ。

加里肥料ハ全部独逸ヨリ輸入セラレ戰前ニ於テハ一万二千噸ノ輸入ヲ觀戰時中一時輸入杜絶シタリシガ、戰後八年々増加シ最近ニ於テハ十七万噸ニ達シタリ。從ツテ消費額モ年々昇リ戰前一万噸以下ニアリシニ最近ニ於テハ十六万噸トナレリ。

窒素肥料ハ智利硝石、硫酸安母尼亞其ノ殆んど全部ヲ占ム。而シテ戰前ニ於テハ智利硝石ノ消費額ハ硫酸安母尼亞ノ消費額ヨリ大ナリシガ、漸次硫酸安母尼亞ニ壓迫セラレ最近ノ狀態ハ硫酸安母尼亞ニ對シ智利硝石大ノ割合ニ在リ。

智利硝石ノ輸入額ハ戰前旺盛ニシテ戰時中船腹不足ニ依リ一時杜絶セシモ戰後再び輸入シ初メ最近ニ於テハ約八万噸ヲ輸入ス、而シテ輸入額ノ七割ハ肥料トシテ使用サルルモノノ如シ。

硫酸安母尼亞ノ生産額ハ戰前四十三万噸ナリシガ戰後減少シ初メ最近ニ於テ大ブリテンノ
ノミニテ三十九万噸トナレリ。輸出ハ戰時中非常ニ減少アリテ漸次回復シ一九二五年
大ブリテンノミニテ二十六万噸ヲ輸出シタリ。消費状況ハ戰前ニ於テハ自國製造額ノ八割
ヲ輸出シ残りニ割ヲ消費シタリシガ最近ニ於テハ、六割餘ヲ輸出シ残り約四割ヲ自國ニ於
テ消費ス。

戰前英國ニ於テハ組織的ニ肥料需給ニ関スル團體發達セザリシガ、戰後肥料製造業者協
會、硫酸安母尼亞協會等發達シ、前者ハ主トシテ過燐酸石灰、調合肥料ノ取引ヲ支配シ後
者ハ硫酸安母尼亞ノ取引ニ從事シ、國內消費増加ノ宣傳ニ努ムル一方輸出促進ニ努力セリ。
然レドモ英國ニ於テハ智利硝石ハ一般農家ニ普及シ居リ硫酸安母尼亞協會ニ於テ宣傳スル
モ其ノ効果ハ顯著ナラズ。一九一五年政府ハ肥料ニ関スル特別委員會ヲ設ケ智利硝石ノ廉
價ニ供給スル目的ヲ以テ智利硝石ニ於テ五万噸購入スルコトニ決スルト共ニ其ノ他肥料ニ於テ
モ同様措置ヲナスコトトシタリ。而ルニ時正ニ戰爭中ニシテ輸腹不足シ、實現スルニ至ラ
ザリキ。依ッテ政府ハ智利硝石ノ缺乏ヲ救済スル爲メ硫酸安母尼亞ノ輸出ヲ制限シ以テ國
内供給ヲ図レリ。而ルニ戰亂離ナルニ及ビ大藥製造ニ要スル硫酸ハ莫大ニ上リ、硫酸安母
尼亞製造業者ハ硫酸普達ヲ以テ之ヲ代用スルコトトナレリ。一九一七年肥料製造ノ取締
權限ハ農水産省ヨリ軍需省ニ移管セラレ、同省ハ硫酸及硫酸安母尼亞ノ製造取締ヲナシ、
農水産省食糧局ハ需給關係ニ関スルニ至レリ。一九一七年政府ト硫酸安母尼亞協會トノ
間ニ價格ニ関スル協約成立シ、硫酸安母尼亞ノ價格ヲ一定セシメ、一定價格以上ニ相場上

(一) 國土面積及人口

種別	年次	九一	三	九二	五
國土面積	平方尺	三〇九、八四四	平方尺	三、一三、〇五〇	平方尺
人口	人口	約四六、八六〇、〇〇〇	人	約四九、五八〇、〇〇〇	人
一平方尺當人口		一五一人		一五八人	

リタル時ハ政府ハ超過額ニ對シ一定ノ規則ノ下ニ賠償スルコトトナレリ。同年中過燐酸石
灰製造業者及遠益磷肥製造業者ト軍需大臣トノ間ニモ同様協約成立シタリ。又調合肥料ノ
價格ニ對シテモ法令ヲ以テ一定ノ制限ヲ附スルコトトシタリ。其ノ後早和克復ト同時一九
一九年之等金テノ臨時取締令ハ廢止セラレタリ。

一、英吉利ニ於ケル農業一斑

(二) 耕地面積

種別	九一		九二		五	
	面積	増減率%	面積	増減率%	面積	増減率%
國土面積	三〇、九八四、三八二	—	三、一三〇、五〇〇	—	—	—
耕地面積	七、二三八、五九六	—	七、六三三、〇〇〇	—	—	—
穀類栽培地	二、一六四、二七七	—	二、九〇一、七六八	—	—	—
牧草栽培地	三、三六二、〇〇六	—	三、七二一、八四七	—	—	—
其他栽培地	一、七〇二、三一一	—	九四〇、三五七	—	—	—

(三) 家畜頭數

種別	年次	頭数		人口1000人當頭数		人口1000人當頭数		人口1000人當頭数	
		一	九	一	三	一	五	一	五
馬	一九二五	二,二九五八	二,二九五八	四七	四七	一,三四九六	四三	二七	二七
驢	一九二五	一,九三六	一,九三六	二五四	二五四	七,三六八	一一一	一四八	一四八
牛	一九二五	二七,六二九	二七,六二九	五八九	五八九	二,三〇九	三二四	七三七	四六五
羊	一九二五	三,三〇五	三,三〇五	一〇六	一〇六	二,七九八	五七六	八九	五六

二、化學肥料ノ消費額

年次	面積	土積	肥料地	總額	加里		窒素	
					總額	成分	總額	成分
一九二五	三,三〇五	三,三〇五	三,三〇五	七,九〇七	二,二〇〇	二,二〇〇	二,二〇〇	
一九二四	三,三〇五	三,三〇五	三,三〇五	七,九〇七	二,二〇〇	二,二〇〇	二,二〇〇	
一九二三	三,三〇五	三,三〇五	三,三〇五	七,九〇七	二,二〇〇	二,二〇〇	二,二〇〇	
一九二二	三,三〇五	三,三〇五	三,三〇五	七,九〇七	二,二〇〇	二,二〇〇	二,二〇〇	
一九二一	三,三〇五	三,三〇五	三,三〇五	七,九〇七	二,二〇〇	二,二〇〇	二,二〇〇	

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九二五	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇
一九二四	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇
一九二三	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇
一九二二	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇
一九二一	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇

過燐酸石灰

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九二五	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇
一九二四	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇
一九二三	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇
一九二二	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇
一九二一	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九二五	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇
一九二四	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇
一九二三	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇
一九二二	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇
一九二一	八二〇,〇〇〇	六四,四九九	六七,一一一	七五五,五〇〇

遠近燐肥

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九二四		一六、三八一		一六、三八一
一九二二		一五、三六五		一五、二六五
一九二一		一五、八一六		一五、八一六
一九二〇		八、六〇一	五	八、六〇一
一九一九		一三、九四四		一三、八四三
一九一八		一〇、三		一〇、三
一九一七				
一九一六		二、九九九	三五六	二、九九九
一九一五		二七、一四九		二七、一四九
一九一四		三九、九一五	三、八七三	三六、〇四二
一九一三		二五、九五八	三、三六四	二二、五九四

備考	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九二五		八、六七六		八、六七六
一九二四		九、二六六		九、二六六
一九二三		八、三五四		八、三五四
一九二二		七、四一八		七、四一八
一九二一		四、九七一		四、九七一
一九二〇		一、四五五	一八	一、四五五
一九一九				

獸骨及骨粉

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一八		五、二二七		五、二二七
一九一七		三、九三二	一一二	三、八二〇
一九一六		二、七八五	二、七三七	一一
一九一五		二、八二〇	五、九六七	二、二三九
一九一四		三、四九五	四、八〇〇	三〇、一五六
一九一三		四、三三八	二、五九四	三、八七四

備考	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	四〇、四〇〇	五、九五四	一、六七七	四八、八二〇
一九一四	四八、〇〇〇	一、六三八	一、三四三	三六、二四一
一九一五	四九、五〇〇		一、九二二	三七、五七七
一九一六	五〇、八〇〇		三、九二四	四六、八七五
一九一七	五七、五〇〇		一、八五四	五七、三一一
一九一八	五五、六二〇		一、〇八二	五五、五三二
一九一九	五、九一三	一、七二四	一、三九九	五、六一三
一九二〇	五八、五四三	一、七八六	一、三三三	五九、九六一
一九二一	二一、〇〇〇	四、五〇六	五、九三八	二四、九一八
一九二二	三〇、五八三	七、三二五	七、〇一一	三〇、八八八
一九二三	三〇、七二六	九、二五八	二、一五七	四一、八二一
一九二四	二六、九二五	六、八八九	二、五二四	三五、一五一
一九二五		二、五四六	二、八九四	二六、五七七

備考	一九二五	1	10,668	1	10,668
----	------	---	--------	---	--------

加里塩

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	1	1,208.5	2,257	9,812
一九一四	1	1,064.0	1,428	9,212
一九一五	1	1,405.1	3,634	10,417
一九一六	1	2,231.5	6,757	15,558
一九一七	1	2,019.0	3,976	16,214
一九一八	1	1,949.2	3,789	15,703
一九一九	1	7,097	4,498	2,599
一九二〇	1	9,397	3,380	6,017
一九二一	(←)	7,588	1,386	7,202
一九二二	(←)	3,103	2,212	3,088
一九二三	(←)	2,156.8	2,204	2,156.8
一九二四	(←)	2,231.5	2,661	2,231.5
一九二五	(←)	1,707.2	1,955	1,688.3

硝酸曹達

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	1	1,431.87	10,837	13,235
一九一四	1	1,746.69	19,588	15,508
一九一五	1	1,336.31	5,430	7,939
一九一六	1	2,231.5	737	20,494
一九一七	1	1,209	4,920	300
一九一八	1	3,055	5	300
一九一九	1	2,487.8	2,432.7	101.57
一九二〇	1	1,498.42	4,827.1	55.93
一九二一	1	5,671.6	785	33.83
一九二二	1	4,655.5	1,272.4	70.32
一九二三	1	7,378.9	3,468	780.08
一九二四	1	8,356.8	5,560	780.08
一九二五	1	8,262.9	1,512	811.17

硫酸安母尼亞

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	438,923	1	318,238	110,685
一九一四	432,835	1	318,369	114,466
一九一五	433,011	1	298,568	134,443
一九一六	440,667	1	263,451	177,216
一九一七	445,981	1	263,941	177,216
一九一八	439,496	1	19,457	420,039

一九一九	四〇三、八九六		九四、三五六	
一九二〇	四〇五、五八三		一一一、三七九	
一九二一	三五六、二八九		一三〇、四九四	
一九二二	三〇六、八四六		一四七、六二四	
一九二三	三八七、一一四		一五七、三五〇	
一九二四	四一四、五四七		一八二、二〇六	
一九二五	三九四、二二六		二六六、四七一	
備考	(一) 八、六、リ、チ、ン、ノ、ミ、			

三、英吉利ニ於ケル肥料價格 (倫敦)

(一) 遠 益 燐 肥 (全燐酸塩三〇%) (噸 (二二四〇封度))

年別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
一九二二年	四一七、〇	四一七、〇	四一七、〇	四一七、〇	四一七、〇	四一七、〇	四一七、〇	四一七、〇	四一七、〇	四一七、〇	四一七、〇	四一七、〇	四一七、〇
一九二三年	三二七、〇	三二七、〇	三二七、〇	三二七、〇	三二七、〇	三二七、〇	三二七、〇	三二七、〇	三二七、〇	三二七、〇	三二七、〇	三二七、〇	三二七、〇
一九二四年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二五年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二六年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇

(二) 硫 酸 安 母 尼 亞 (窒素二、一%) 單位 (噸 (二二四〇封度))

年別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
一九二二年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二三年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二四年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二五年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二六年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇

年別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
一九二二年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二三年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二四年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二五年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二六年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇

(三) 硝 酸 曹 達 (窒素一五、五%) 單位 (噸 (二二四〇封度))

年別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
一九二二年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二三年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二四年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二五年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇
一九二六年	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇	二一七、〇

二、亞米利加合衆國

亞米利加合衆國ノ國土面積ハ廣袤七百八十四万平方英里ニシテ人口一億一千六百万ニ平方英里當リ僅カ十五人ニ過ヤズ、其ノ耕地面積ハ年々増加シテ現在國土面積ノ一割五分ニ過ヤズ、ルニ農産物ハ自國民ヲ養フテ餘リアリ、而カモ木ダ開墾セラレザル面積莫大ニシテ農業國トシテ前途多シ。

斯ノ如ク農業國トシテノ開發不充ナルヲ以テ肥料消費額モ他ノ諸國ニ比シ絶對數ニ於

テハ大トレド單位面積ニ對スル消費量ハ遙カニ下位ニ在リ。亞米利加合衆國ハ大戰ニ當リ歐洲諸國ノ如キ痛手ヲ蒙ラズ反ツテ好影響ヲ受ケタレバ肥料製造額消費額ハ戰時中急氣ヲ呈シ殊ニ窒素肥料ハ戰爭勃發以來異常ナル発達ヲ示セリ。

磷酸肥料成分消費量ハ戰前五十万噸ニ對シ戰後五十二万噸トナリ多少増加シタレドモ耕地面積擴張セル為メ一ヘクタール當リ消費量ハ、四二五ヨリ三、八五ニ減少ヲ來セリ。磷酸肥料中最も主要ナルハ過磷酸石灰ニシテ、一九一五年ニ於ケル成分消費量五十二万噸中其ノ九割九分ハ過磷酸石灰ニ依リ補給サレタリ。戰前ニ於ケル過磷酸石灰ノ生産額ハ、三百二十万噸ニシテ戰時中ハ五百万噸ニ達シタリシガ、戰後減少シ最近ニ於テハ約三百五十万噸ヲ生産シ其ノ中約一分ヲ輸出シ他ハ全部自國內ニ於テ消費シツツアリ。

尚戰後農務省上地課ニ於テハ空中窒素固定工場ニ於テ生産サルル安母尼亞ト磷酸石灰ヨリ得ル磷酸トニヨリ磷酸安母尼亞ノ如キ新肥料製造ノ研究ニ從事シ民間ニ於テモ調査ヲ進メタリ結果工業的ニ成功シ、現今ニ於テハ相當多量ヲ生産シ輸出スルニ至リタリ。

加里肥料ハ戰前全部快速ヨリ輸入セラレシガ戰爭開始ト同時ニ輸入杜絶シタル結果加里肥料ノ缺乏ヲ來タシ、セメントダスト、溶鉱炉残渣等ヲ利用スルト共ニ一方鹹水湖殊ニネブラスカ湖、ソーヤル湖等ヨリ加里ヲ採取又ハ海藻ヨリ製造スル等銳意加里給源ノ開發ニ努メタル結果、戰前生産額皆無ナリシ加里肥料モ一九一五年ニ於テハ實ニ十一万噸ヲ算スルニ至レリ。然レドモ戰後再び快速ヨリ低價ナル加里肥料輸入セラルルコト莫大ニシテ最近ニ於テハ消費量九十五万噸中九割ハ快速ニ仰ギツツアリ。

戰前亞米利加合衆國ハ有機質窒素肥料ノ消費多額ニ上リシガ、戰時中食糧改革ノ見地ヨリ之等有機物ヲ家畜ノ飼料トシテ奨励シ一方價格騰貴セル為メ、無機質窒素肥料ノ需要急激ニ増加セリ。

無機質窒素肥料中最モ多量ニ消費サルルハ智利硝石ニシテ戰前六十三万噸ナリシモノ一九一八年ニハ火藥原料トシテ、消費サレタリトハ云ヘ實ニ、百八十万噸ニ達シ、戰後一時減少シタレド、最近ニ於テハ尚百万噸ヲ下ラズ、世界ニ於ケル最大消費國ナリ。

亞米利加合衆國ニ於テ生産サルル硫酸安母尼亞ハ殆ンド全部副産品ニシテ戰前ニ於テハ、十七万噸ノ自國製造品ノミニテハ不足シ六万噸内外輸入セシガ戰後生産額、急激ニ増加スルト共ニ輸出増加トナリ、最近ニ於テハ、五十四万噸ヲ生産シ其ノ二割餘ヲ輸出ス。消費額モ生産増加ニ附隨シテ増加シ戰前ニ十三万噸ナリシモノ最近ニ於テハ、四十四万噸トナリ殆ンド倍加セリ。斯クシテ戰前多量ニ消費セラレシ有機質窒素肥料モ無機質窒素肥料ニシテ硫酸安母尼亞ヲ以テ置換サレツツアリ。

尚大戰中爆發物製造原料トシテ窒素化合物ノ必要ナルニ鑑ミ戰時局ニ於テ空中窒素固定法ニ就キ研究ヲ進メツツアリシガ、工業的ニ實現スルニ至ラズ中絶シタリ。然レドモ一九一〇年農務省土壤局ノ農學委員會及農事試驗場長會議等ノ報告ニ依レバ將來ノ窒素供給ハ空中窒素固民法ニヨリ解決スベキコトヲ決議シ、一方民間ニ於テモ銳意研究ヲ進メツツアリ。石灰窒素ノ生産額ハ戰前戰後共大體五六万噸内外ニシテ輸入ハ、七八千噸ヲ示シ、最近ノ消費統計不明ナルモ大體七万噸ト見ラル。

戰前軍需省ノ計算ニ依レバ亞米利加合衆國ノ肥料製造額ハ、一八九九年ヨリ一九一四年ノ一五ヶ年間ニ於テ七分五厘ノ増加率ヲ以テ進ミタリ。コノ累進率ヲ以テ進々バ戰後ノ生産額ハ莫大ニ達シタランモ、戰後經濟界ノ影響其ノ他諸種ノ事情ニ依リ計算額ハ達セザリキ。然レドモ價ニ於テハ戰後相當變化ヲ來タシツツアリ。乃チ官民共ニ濃厚肥料製造ニ就キ研究シ、其ノ製品ハ今ヤ市場ニ現ハレ益々増加ノ傾向ヲ示シツツアリ。

戰時中亞米利加合衆國ニ於テハ肥料價格ニ對シテハ制限ヲ設ケザリシガ、聯合肥料ノ聯合割合ニ關シテハ一定ノ限度ヲ規定シタリ。亞米利加合衆國ノ肥料價格ハ北部地方ニ於テハアメリカ農業化學株式會社ノ價格表、南部地方ニ於テハヴイジニア、カロリナ化學工業株式會社ノ價格表ニ從ヒ決定サレツツアリ。戰前戰後ニ於ケル肥料價格ハ別表ノ如シ。

一、北米合衆國ニ於ケル農業一斑

(一) 國土面積及人口

種別	年次	面積	人口
國土面積	一九〇九	七、八三九、四三二	九六、五一二、四〇七
人口	一九〇九	九六、五一二、四〇七	九六、五一二、四〇七
一平方料當人口	一九〇九	一、二二八	一、二二八

(二) 耕地面積

種別	年次	面積	耕地面積計%	國土面積ニ對スル%
耕地面積計	一九〇九	一、九〇〇	二四・〇	二四・〇
耕地面積計%	一九〇九	一、九〇〇	二四・〇	二四・〇
國土面積ニ對スル%	一九〇九	一、九〇〇	二四・〇	二四・〇

國土面積	耕地面積計	耕地面積計%	國土面積ニ對スル%
七、八三九、四三二	一、九〇〇	二四・〇	二四・〇
一、八八六、八〇八	七、七四五、八〇三	一、九〇〇	一、九〇〇
牧草栽培地	二、二九六、九〇四	一、九	一、九
牧草栽培地	一九、四〇四、六八四	一、九	一、九

(三) 家畜頭數

種別	年次	頭數	一〇〇〇人當頭數	一九〇九	一九〇九	一九〇九
馬	一九〇九	一、九七六、九七五	二五・一	一九〇九	一九〇九	一九〇九
騾	一九〇九	二〇、五六七、〇〇〇	二六	一九〇九	一九〇九	一九〇九
牛	一九〇九	四、二八六、〇〇〇	五	一九〇九	一九〇九	一九〇九
羊	一九〇九	五、八五七、〇〇〇	七二	一九〇九	一九〇九	一九〇九
山羊	一九〇九	五、一四八、二〇〇	六五	一九〇九	一九〇九	一九〇九
豚	一九〇九	六、一七〇、〇〇〇	七八	一九〇九	一九〇九	一九〇九

備考

(一) 一月現在
 (二) 一九一〇
 (三) 一九二五

二、化學肥料ノ消費額

年次	園地 面積	主耕 面積	磷 肥 料		加 肥 料		窒 素 肥 料	
			成 量	分	成 量	分	成 量	分
一九一三	七七〇,二四二	二八八,八〇八	三,三〇二	五八七	九,五八二	二八八	九,二九二	二六三
一九一四	七七〇,二四二	二八八,八〇八	三,五〇八	五八七	九,五八二	二八八	九,二九二	二六三
一九一五	七七〇,二四二	二八八,八〇八	三,五〇八	五八七	九,五八二	二八八	九,二九二	二六三
一九一六	七七〇,二四二	二八八,八〇八	三,五〇八	五八七	九,五八二	二八八	九,二九二	二六三
一九一七	七七〇,二四二	二八八,八〇八	三,五〇八	五八七	九,五八二	二八八	九,二九二	二六三
一九一八	七七〇,二四二	二八八,八〇八	三,五〇八	五八七	九,五八二	二八八	九,二九二	二六三
一九一九	七七〇,二四二	二八八,八〇八	三,五〇八	五八七	九,五八二	二八八	九,二九二	二六三
一九二〇	七七〇,二四二	二八八,八〇八	三,五〇八	五八七	九,五八二	二八八	九,二九二	二六三
一九二一	七七〇,二四二	二八八,八〇八	三,五〇八	五八七	九,五八二	二八八	九,二九二	二六三
一九二二	七七〇,二四二	二八八,八〇八	三,五〇八	五八七	九,五八二	二八八	九,二九二	二六三
一九二三	七七〇,二四二	二八八,八〇八	三,五〇八	五八七	九,五八二	二八八	九,二九二	二六三
一九二四	七七〇,二四二	二八八,八〇八	三,五〇八	五八七	九,五八二	二八八	九,二九二	二六三
一九二五	七七〇,二四二	二八八,八〇八	三,五〇八	五八七	九,五八二	二八八	九,二九二	二六三

年次	生 産 額	輸 入 額	輸 出 額	消 費 額
一九一四	三,七八五,四七五	—	—	三,七八五,四七五
一九一五	二,五三二,六〇〇	—	—	二,五三二,六〇〇
一九一六	—	—	—	—
一九一七	五,三〇〇,四四一	—	三,六〇六	五,二九六,五三五
一九一八	五,〇五九,七八七	—	七,一〇三	五,〇五二,六八四
一九一九	二,三七七,〇〇〇	—	八,八一八	二,二八八,八一七
一九二〇	五,八三一,七六七	—	八,二二九	五,七四九,四七四
一九二一	三,四八三,七〇四	—	三,三四七	三,四八〇,三五七
一九二二	二,七八八,二〇七	—	二,四七六	二,七六三,四四三
一九二三	三,〇五四,六九一	—	四,二七五	三,〇一一,九一六
一九二四	二,九四八,八〇三	—	四,六四五	二,九〇二,三一一

備考	一九二五	三,四八九,三九七	—	六七,九五二	三,四二一,四四五
----	------	-----------	---	--------	-----------

年次	生 産 額	輸 入 額	輸 出 額	消 費 額
一九一四	三,六六〇,〇〇〇	—	—	三,六六〇,〇〇〇
一九一五	二,一六六,四〇〇	—	—	二,一六六,四〇〇
一九一六	—	—	—	—
一九一七	一,〇六八,八〇〇	—	—	一,〇六八,八〇〇
一九一八	五,二六六,〇〇〇	—	—	五,二六六,〇〇〇
一九一九	六,二一四,〇〇〇	—	—	六,二一四,〇〇〇
一九二〇	一,八五五,九〇〇	—	—	一,八五五,九〇〇
一九二一	二,一八六,〇〇〇	—	—	二,一八六,〇〇〇
一九二二	三,七七〇,〇〇〇	—	—	三,七七〇,〇〇〇
一九二三	五,七二四,〇〇〇	—	—	五,七二四,〇〇〇
一九二四	二,二五九,九〇〇	—	—	二,二五九,九〇〇
一九二五	二,五三三,八〇〇	—	—	二,五三三,八〇〇

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三		六三五、九〇五	五六四、九	六三〇、二五六
一九一四		五五〇、四〇八	九三六、八	五四一、〇四〇
一九一五		七八四、五八一	二二一、〇〇八	七六一、四七三
一九一六		一、二三七、九七五	五四四、一〇二	一、一八三、五六三
一九一七		一、五六七、九七七	七〇、八九九	一、四九七、〇七八
一九一八		一、八七四、六八二	五五、五八四	一、八一〇、〇九八
一九一九		四一三、九九七	一三、八九二	四〇〇、一〇五
一九二〇		一、三四三、一〇四	二〇、一三七	一、三二二、九六七
一九二一		三、七五〇、九八	三三、五九六	三四一、五〇二
一九二二		五五一、一六九	一三、二四六	五三七、九三三
一九二三		九〇五、九八八	一一、八六二	八九四、一二六
一九二四		一、〇〇二、四四〇	七、七二二	九九四、七二八
一九二五		一、一三〇、〇七四	九、一八八	一一〇、八八六

硝酸普達

備考	(-)ハ成分Kニ〇トシテノ消費額	マ架ジテ算出セリ
一九二〇	一、六六、八三四	一、四〇六、七二三
一九二一	二、五、四八五	二、九五、六八一
一九二二	三、二、〇八七	六〇九、一六一
一九二三	九一、六九五	七七〇、三九五
一九二四	一〇三、八五五	七四五、九四二
一九二五	一一五、三八〇	九五六、六二九

加里塩

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三		九六二、〇四四	三、七五八	九五八、二八八
一九一四		七一五、〇九七	四、四九五	七一〇、六〇四
一九一五		九一、二〇七	九三、四	九〇、三三三
一九一六		九、一一〇	二二、四	八、八七六
一九一七		五、三二九	六、八	五、二六一
一九一八		四、七一五	一	四、七一五
一九一九	一、一六、六三四	一、八四、七六五	七、四八	三〇〇、六五一

備考	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一四		二五、九七二		二五、九七一
一九一五		一〇、一三四		一〇、一三四
一九一六		一三、二〇六		一三、二〇六
一九一七		六、六〇四		六、六〇四
一九一八		八、三三八		八、三三八
一九一九		七、一三〇		七、一三〇
一九二〇		五四、六五三		五四、六五三
一九二一		六、三〇八		六、三〇八
一九二二		四、六三八		四、六三八
一九二三		一、一八、四三三		一、一八、四三三
一九二四		二五、六五〇		二五、六五〇
一九二五		一七、六八六		一七、六八六

備考

硫酸安母尼重

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	一七六、九〇〇噸	五九、二一六噸	二六、七	二三六、一六噸
一九一四	一一六、〇一六噸	七五、三一〇	二六、七	二四一、〇五九
一九一五	二二六、八三四	三二、九九八	一、二二三	二五八、六〇九
一九一六	二六一、五一二	一三、一七〇	四五、九	二七四、二二三
一九一七	三三五、七〇一	七、三八〇	二二三	三四二、八五八
一九一八	三五二、四〇六	三、〇四一	一	三五五、四四七
一九一九	三六五、七九八	二、三九二	一	三六八、一九〇
一九二〇	四五三、一〇五	二〇、二六	六〇、五五七	三五四、五七四
一九二一	三二五、二二六	四、七五二	一〇、四四六	二二五、五一一
一九二二	四三二、五一〇	四、九六八	一四、九六五	二八七、七八三
一九二三	五四七、三六二	三五、九六	一五六、一四三	三九四、八一五
一九二四	五一六、七五三	六、〇九六	一二〇、二六六	四〇二、五八三
一九二五	五四四、三一〇	二四、一四三	一二五、一七	四四三、三三六

年次

生産額

輸入額

輸出額

消費額

一九一三	四八、〇〇〇噸	一四、八九噸	一噸	六二、八九噸
------	---------	--------	----	--------

シ ア ナ ミ ド

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一四	五八、〇〇〇	二九、〇六三	一	八七、〇六三
一九一五	五八、〇〇〇	一	一	五八、〇〇〇
一九一六	五八、〇〇〇	一	一	五八、〇〇〇
一九一七	五八、〇〇〇	一	一	五八、〇〇〇
一九一八	五八、〇〇〇	二六、六一一	三八、〇九八	一九、九〇二
一九一九	六二、〇〇〇	二六、六一一	四六、八〇三	三七、八〇八
一九二〇	六五、〇〇〇	七、三四九	五九、六七一	六五、四四七
一九二一	四〇、〇〇〇	一六、三五五	五三、三六八	八四、〇八一
一九二二	三五、五六二	四、三四七	一七、一七三	五九、一八二
一九二三	四八、五三四	九、三五九	四六、二二六	五一、八〇四
一九二四	五六、一〇九	七、八〇五	一	六四、九一四
一九二五	六五、一〇〇	七、九〇二	一	七三、〇〇二

三 亞米利加合衆國ニ於ケル肥料價格

年次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
一九二五	一一、三五	一一、三五	一一、三五	一一、三五	一一、三五	一一、三五	一一、三五	一一、三五	一一、三五	一一、三五	一一、三五	一一、三五	一一、三五
一九二四	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五
一九二三	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五
一九二二	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五
一九二一	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五
一九二〇	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五
一九一九	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五
一九一八	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五
一九一七	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五
一九一六	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五
一九一五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五
一九一四	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五	一〇、三五

單位 (二〇〇〇封度)

大西洋岸諸港ニ於ケル價格

加 里 塩 (含量二〇%)

備考 × 年ハ一成分ニ對スルセント數

年別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
一九一四年	二八五	二九五	二九〇	二七七	二七五	二四七	三〇〇	三三〇	二五五	二五五	二五五	二五五	二七五
一九一五年	二八五	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇
一九一六年	二九七	二九五	二九〇	二八〇	二六〇	二六〇	二七七	二八二	二九七	二九七	二九七	二九七	二八七

三、獨逸

獨逸ノ國上面積ハ戰前五十四万平方料ナリシガ、戰後ベルサイユ條約ニ依リアルサスロレン州ヲ失ヒタル為メ四十七万平方料トナレリ。最近ノ人口ハ、六千三百万人ニシテ一方料當リ百三十四人トナリ、五ヶ國中英吉利ニ次イテ人口稠密ナリ。國土面積ノ四割三分ハ農業地トシテ開發セラレ耕地面積ノ約六割ハ穀類栽培地ナリ。一方家畜頭數ニ於テモ四千五百八十万頭ヲ算シ十平方料當リ九百七十頭ニシテ之ヲ英國ニ次グ。肥料消費額ハ戰時中ヲ除キテ八年々増加シ現今ニ於テハ單位面積ニ對スル消費量ハ各國中群ヲ抜き消費總量ニ於テモ他ヲ凌駕シツツアリ。

磷酸肥料ノ消費額ハ戰前無水磷酸トシテ六十一万噸、一ヘクタール當リ二四、一噸ヲ示シタリシガ、戰爭開始以來急激ニ減少シ戰後一九二二年ハ僅カニ十六万噸トナリ、其ノ後漸次回復ニ向ヒ一九二五年ニハ四十五万噸一ヘクタール當リ二二、一噸ヲ消費スルニ至レリ。而シテ成分消費量ヲ種類別ニ觀ルニ戰前ニ於テハ遠益磷肥ノ五割三分、過磷酸石灰ノ三割五分、残り一割二分ハ骨粉獸骨ダアノ等ナリシガ、最近ニハ遠益磷肥七割七分、過磷酸石灰及二割二分ノ割合ニ在リ。磷酸肥料消費額減少ハ主トシテ過磷酸石灰消費額ノ減少ニ由來スルモノニシテ、戰前百八十万噸ヲ生産シタリシニ其ノ最モ減少シタル一九一九年ニハ九万六千噸トナリ、其ノ後漸次増加シ最近ニ於テハ、六十六万噸トナレルモ尚戰前ノ三分ノ一ニ過ギズ。

斯カル状態ニアルヲ以テ戰前七十ニ達シタル過磷酸石灰製造工場數モ最近ニ於テハ、四十ニ減少シ、製造會社ハ或ハ合同シ或ハ過磷酸石灰及工業聯盟ニ加入スル等種々ノ自衛策ヲ講ジツツアリ。

過磷酸石灰製造額ノ急激ナル減少ニ并シ遠益磷肥製造額ノ減少ハ左程甚シカラズ、消費額ニ於テハ戰前ト最近トハ殆ンド同量ナリ。乃チ戰前ノ生産額ニ百二十五万噸ニ對シ最近ハ百三十二万噸ニシテ約四割ノ減少ナルモ之ハアルサスロレン州ノ如キ製鉄業旺盛ナル地方ヲ失ヘル為メナリ。輸入額ハ戰前四十四万噸ニシテ戰時中ハ杜絶セシモ平和克復後増加シ、一九二五年ニ於テハ七十万噸ニ達シタリ。同年ニ於ケル輸出額ハ約七万噸ニシテ輸入額ノ一割ニ過ギズ。消費總額約二百万噸中約六割七分ハ自國生産品ヲ以テ補給シ他ハ輸入ニ

待ツノ状態ニ在リ。

加里肥料ハ独逸一國ニテ殆んど世界各國ニ供給シツツアリ。後ツテ其ノ消費額モ他ノ諸國ト比較ニナラザル程ニシテ戰前一ヘクタール當リ消費量無水加里トシテハ七冠ヲホシ戰後ニ於テハ實ニ一七一冠トナレリ。而シテ戰前ニ於テハ生産額ノ四割六分ヲ輸出シツツアリシガ、戰時中ハ輸出杜絶シタル爲メ全部自國內ニ於テ消費シタリ。戰後再び輸出初マリ一九一八年ニハ生産額ノ一割四分一九二〇年ニハ二割五分ト増進シ、最近ニ於テハ約四割ヲ輸出シ残り六割ヲ自國內ニ於テ消費シツツアリ。独逸ニ於ケル加里工業ハ全部加里シンジケートノ支配下ニ在リ、同シンジケートハ今ヨリ四十三年前加里坑所有者ト政府トノ協定ニ依リ組織セラレ、現今生産調節、價格決定等スベテ同シンジケートノ手中ニ在リ。尚一八九〇年及一八九九年政府ハ加里法令ヲ發布シ、本法令ニ依リ加里會議ナルモノ組織セラレタリ。同會議ハ農民利害關係代表者加里塩類使用工業代表者、加里坑ノ職工及諸工業ノ使用人代表者、加里研究所代表者、加里坑所有者ノ代表者、加里シンジケートノ代表者等ヨリナリ加里工業全部ヲ監督シツツアリ。而シテ最近ノ報告ニ依レバ法律ヲ以テ現在ノ加里坑二百二十四坑中ノ百十八坑ヲ一九五三年迄閉鎖シ、ソノ中七十坑ハ作業ヲ開始シ得ル状態ニ置キ、残り三十六坑ヲバ豫備トシテ取置クコトナレリ。戰前ニ於ケル独逸ノ主要窒素肥料ハ智利硝石ニシテ、一九一三年ノ窒素成分消費量二十二万噸中其ノ半数十一万噸ハ智利硝石ニ依リ他ハ硫酸安母尼亞、石灰窒素ニ依リシガ、戰爭開始ト同時ニ智利硝石ノ輸入杜絶シ困窮状態ニ陥リタリ。而ルニ戰時中ハ一バー法ニ依ル

合成アンモニア製造法が工業的ニ成功セシ以未急速ナル發展ヲナシ、戰前硫酸安母尼亞ノ生産額ハ約五十五万噸ナリシニ一九二五年ニ於テハ實ニ百八十万噸ニ達シ實ニ戰前ノ三倍餘ノ増加ヲ示セリ。尚信々ベキ推定ニ依レバ一九二七年度ニ於テハ窒素トシテ六十萬噸ヲ生産スルナラント、而シテ其ノ九割迄ハ合成窒素ナルベシ。輸出額モ之ニ伴ヒ増加シ戰前七万ニ過ギザリシニ一九二五年ニハ、三十四万噸ヲ示セリ。之ト同時ニ石灰窒素ノ生産額モ急速ニ増加シ戰前ノ四万八千噸ハ、一九二五年ニハ、二十五万噸トナレリ。斯カレ状態ナルヲ以テ戰前窒素肥料中最多ク使用セラレシ智利硝石ハ駆逐サレ最近ニ於テハ其ノ消費額一萬噸ニ達セズ。今戰前戰後ニ於ケル窒素肥料消費状況ヲ觀ルニ一九一三年ノ成分消費額ハ、二十二万噸、一ヘクタール當リハ七冠ナリシニ一九二五年ニ於テハ、三十五万噸一ヘクタール當リ實ニ一七一冠ニ達シタリ。尚之等空中窒素固定肥料ハ殆んど全部硫酸安母尼亞トシテ市場ニ出デシガ、智利硝石ヲ駆逐スル爲メ、近時硫酸加里安母尼亞及硫酸安母尼亞(ロイナ硝石)等ノ如キ複塩ノ新肥料ヲ製造スル一方、尿素ノ如キ濃厚肥料ヲモ製造シツツアリ。此他濃厚ナル硝酸石灰、ロイナフオス、ノ如キ肥料或ハ支那向トシテロイナフオスカヲ製造スル等新肥料ノ製造ニ於テモ著シキ發展ヲナシツツアリ。

一、独逸ニ於ケル農業一斑
(一) 國土面積及人口

年次	一	九	二	五
國土面積	五四〇、八五七	千方呎	一	九
人口	四七二、〇三七	千方呎	一	五

人	六六、九七八、〇〇〇人	六三、三一八、七五三人
一平方千米當人口	一一四一人	一三四一人

備考 一平方千米 100ヘクタール

(二) 耕地面積

種別	年次		面積	耕地面積計(%)	園地面積計(%)	園地面積對比(%)
	一	九				
園土面積	54,085,700	54,085,700	100%	100%	40.20%	40.20%
耕地面積	25,522,600	25,522,600	100%	100%	20.48%	20.48%
穀類栽培地	15,348,148	15,348,148	100%	100%	11.58%	11.58%
牧草栽培地	2,616,856	2,616,856	100%	100%	3.29%	3.29%
其他作物栽培地	6,557,596	6,557,596	100%	100%	5.60%	5.60%

(三) 家畜頭數

種別	年次		頭數	1000ヘクタール當頭數	人口1000人當頭數
	一	九			
總計	58,924,944	58,924,944	100%	100%	88.0頭
馬	3,226,640	3,226,640	100%	100%	4.8頭
騾	1,226,640	1,226,640	100%	100%	1.8頭
牛	20,994,344	20,994,344	100%	100%	31.3頭
羊	5,520,837	5,520,837	100%	100%	8.2頭
山羊	3,548,844	3,548,844	100%	100%	5.3頭

豚

備考 (一) 一九一二年	25,659,440	47,400	58,300	1,159,766	34,200	25,500
--------------	------------	--------	--------	-----------	--------	--------

二、化學肥料、消費額

年次	園土面積		耕地面積		總計	磷		成		總計	氮		總計	成		總計
	面積	積	面積	積		量	分	量	分		量	分		量	分	
一九一三	54,085,700	25,522,600	18,191,299	18,191,299	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%
一九一四	54,085,700	25,522,600	18,191,299	18,191,299	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%
一九一五	54,085,700	25,522,600	18,191,299	18,191,299	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%
一九一六	54,085,700	25,522,600	18,191,299	18,191,299	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%
一九一七	54,085,700	25,522,600	18,191,299	18,191,299	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%
一九一八	54,085,700	25,522,600	18,191,299	18,191,299	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%
一九一九	54,085,700	25,522,600	18,191,299	18,191,299	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%	3,638,564	1.8%

過磷酸石灰

年次	生産額		輸入額		輸出額		消費額	
	一	九	一	九	一	九	一	九
一九一三	1,818,700	1,818,700	53,193	53,193	282,653	282,653	1,589,000	2,140,000
一九一四	1,818,700	1,818,700	53,193	53,193	282,653	282,653	1,589,000	2,140,000
一九一五	1,818,700	1,818,700	53,193	53,193	282,653	282,653	1,589,000	2,140,000
一九一六	1,818,700	1,818,700	53,193	53,193	282,653	282,653	1,589,000	2,140,000
一九一七	1,818,700	1,818,700	53,193	53,193	282,653	282,653	1,589,000	2,140,000
一九一八	1,818,700	1,818,700	53,193	53,193	282,653	282,653	1,589,000	2,140,000
一九一九	1,818,700	1,818,700	53,193	53,193	282,653	282,653	1,589,000	2,140,000

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額	備考
一九一三		六一、九一九	六、一二七	五五、七九二	
一九一四					
一九一五					
一九一六					
一九一七					
一九一八					
一九一九					
一九二〇					
一九二一					
一九二二					
一九二三					
一九二四					
一九二五					

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額	備考
一九一三	二、二五〇、〇〇〇	四四一、〇〇〇	七一三、八七八	一九七七、一九一	
一九一四	二、〇六七、〇〇〇	二三四、〇八一	三〇七、一〇六	一九九三、九七五	
一九一五	一、五四〇、〇〇〇			一、五四〇、〇〇〇	
一九一六	一、八〇〇、〇〇〇			一、八〇〇、〇〇〇	
一九一七	一、七五〇、〇〇〇			一、七五〇、〇〇〇	
一九一八	一、五〇〇、〇〇〇			一、五〇〇、〇〇〇	
一九一九	七〇〇、〇〇〇	四〇、一四四	四、八七四	七〇〇、〇〇〇	
一九二〇	七三三、〇〇〇	三八三、七八〇	三、一八六	七三三、〇〇〇	
一九二一	九五三、〇〇〇	三七七、六六三	三、一八六	九五三、〇〇〇	
一九二二	一、一三三、三五〇	五三、二二八	六、四四一	一、一三三、三五〇	
一九二三	一、〇六四、九九五	五一七、六一〇	二〇、六〇八	一、〇六四、九九五	
一九二四	一、三四二、四八〇	七〇四、六七〇	七六、五一一	一、九七〇、六三九	
一九二五					

遠益燐肥

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額	備考
一九二〇	二八〇、〇〇〇	二五、二三九	一、〇四〇	三〇四、一九九	
一九二一	四五〇、〇〇〇	二六、八二四	五、五七五	四七一、二四九	
一九二二	六三一、〇〇〇	五七、〇五八	一三、八八六	六七四、一七二	
一九二三	三六五、〇〇〇	一〇、八二二	一八、一〇七	三五七、七一五	
一九二四	五八〇、〇〇〇	一八、四九〇	二二、六〇一	五七五、八八九	
一九二五	六六〇、〇〇〇	三九、九七〇	四五、七四二	六五四、二二八	

年次	カイニツト及カルナリツト	肥料用加里塩	硫酸加里	塩化加里	硝酸加里
一九二五	三一七、〇二九	八二八、五五三	一二九、三六九	一九六、六七二	一六、二九一
一九二四	二三六、四五〇	四四〇、九五〇	九四、九七一	一一〇、七七九	一一、七四〇
一九二三	三八〇、六五九	五八八、二九六	一一六、四八六	一二三、七五六	一〇、〇七九
一九二二	四〇一、一八五	五〇一、〇一一	八五、二二〇	一六〇、六四七	一一、一一七
一九二一					
一九二〇					
一九一九			七三九、八一六		
一九一八					
一九一七					
一九一六					
一九一五					
一九一四		二三三、七一四	五〇、〇六四	一五九、三四八	
一九一三	一、一七四、五〇三	四六〇、八六五	一三三、三五八	三九三、三二〇	一六、〇五七

加里肥料ノ種類別輸出額

年次	輸出額
一九二〇	一、三三六、四三九
一九二一	九、二八九、六三三
一九二二	一三、〇七一、一八二
一九二三	八八五、九三六
一九二四	八四二、〇六〇
一九二五	一、二五五、五一二

Trade Commissioner William T. Dampier, Berlin

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九二五			一、三九〇	
一九二四			五五二	
一九二三			一九三	
一九二二			五一四	
一九二一			五二八	
一九二〇			二八三	
一九一九				
一九一八				
一九一七				
一九一六				
一九一五				
一九一四				

加里塩

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九二五	七、八一、七一四		七三九、八一六	六〇八、七六七
一九二四	八、四三、二五一			八二一、六八四
一九二三	八、九三、七三八			八三四、三八二
一九二二	八、六四、七八一			六八〇、五六一
一九二一	六、八七、四七六			五二〇、二一一
一九二〇	八、一七、五一二			四八三、六二七
一九一九	一一、六〇、七、五〇〇	四、六、四、〇〇〇	一、〇〇〇、〇八四	五三六、一〇三

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一四				
一九一五				
一九一六				
一九一七				
一九一八				
一九一九				
一九二〇				
一九二一				
一九二二				
一九二三				
一九二四				
一九二五				

加 里 塩

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	一一、六〇七、五一〇		一、〇〇〇、〇八四	五三六、一〇三
一九一四	八、一七一、五一二			四八三、六二七
一九一五	六、八七九、四七六			五二〇、二一一
一九一六	八、六四二、七八一			六八〇、五六一
一九一七	八、九三八、七三八			八三四、三八二
一九一八	九、四三八、二五一			八二一、六八四
一九一九	七、八一、七一四		七三九、八一六	六〇八、七六七

加 里 塩 [(K₂O)H₂F]

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	一一、一〇、三六九			
一九一四	九、三、九八八			
一九一五	六七九、七七六			
一九一六	八八三、九七六			
一九一七	一、〇〇、四、二八二			
一九一八	一、〇〇、一、六六四			
一九一九	八、一、二、〇〇二			
一九二〇	九、二、三、六四三			
一九二一	九、二、一、四七			
一九二二	一、二、九、五四四			
一九二三	八、八、五、九三六			
一九二四	八、四、二、〇六〇			
一九二五	一、二、二、五、五一二			

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	四八、五〇〇噸	—	—	四八、五〇〇噸
一九一四	六六、〇〇〇	—	—	六六、〇〇〇
一九一五	七三、七〇〇	—	—	七三、七〇〇
一九一六	一七〇、九二〇	—	—	一七〇、九二〇
一九一七	一八三、〇〇〇	—	—	一八三、〇〇〇
一九一八	一七八、〇〇〇	—	—	一七八、〇〇〇
一九一九	二一六、〇〇〇	—	—	二一六、〇〇〇

シヤナミド

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一四	四八、八〇〇	—	—	四八、八〇〇
一九一五	五〇、〇〇〇	—	—	五〇、〇〇〇
一九一六	六〇、〇〇〇	—	—	六〇、〇〇〇
一九一七	七〇、〇〇〇	—	—	七〇、〇〇〇
一九一八	八五、〇〇〇	—	—	八五、〇〇〇
一九一九	三三五、〇〇〇	—	—	三三五、〇〇〇
一九二〇	五一二、〇〇〇	—	—	五一二、〇〇〇
一九二一	八八〇、〇〇〇	—	—	八八〇、〇〇〇
一九二二	一、一九一、〇〇〇	—	—	一、一九一、〇〇〇
一九二三	一、五〇〇、〇〇〇	—	—	一、五〇〇、〇〇〇
一九二四	一、五〇〇、〇〇〇	—	—	一、五〇〇、〇〇〇
一九二五	一、八八〇、〇〇〇	—	—	一、八八〇、〇〇〇

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	五四九、〇〇〇噸	三四、六二七噸	七五、八六八噸	五〇七、七五九噸

硫酸安母尼亞

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	—	—	—	—
一九一四	—	—	—	—
一九一五	—	—	—	—
一九一六	—	—	—	—
一九一七	—	—	—	—
一九一八	—	—	—	—
一九一九	—	—	—	—
一九二〇	—	—	—	—
一九二一	—	—	—	—
一九二二	—	—	—	—
一九二三	—	—	—	—
一九二四	—	—	—	—
一九二五	—	—	—	—

硝酸普達

備考

佛蘭西

佛蘭西ノ國土面積ハ戰前一九一三年ニ於テ五十三万六千平方料ヲ台メシテ戰後アルサス口
 一、レシ州ヲ獨逸ヨリ奪取シ現在ニ於テハ、五十五万平方料トナレリ。最近ノ人口ハ、三千
 九百万ニシテ一平方料當リ七十二人ナリ。耕地面積ハ戰前ニ於テハ國土面積ノ四十五パー
 セントヲ台メシガ一九二五年ニハ、四十一パーセント、約二十三万平方料ニ減少セリ。耕

三、獨逸ニ於ケル肥料價格

加里塩 (含量一三一・五%) 單位 (一成分(一) 一担)

年月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
一九二三年	一九九	二二九	二二七	二八七	三八七	三八七	四八五	五九四	一一二五	一、五二九	一〇	一〇	一〇
一九二四年	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五
一九二五年	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五	一一、二五
一九二六年	一一、二四	一一、二四	一一、二四	一一、二四	一一、二四	一一、二四	一一、二四	一一、二四	一一、二四	一一、二四	一一、二四	一一、二四	一一、二四

X 印ハ二〇%ノ加里ヲ含ムモノノ金貨ペヒニ依ル成分價格

一九二五	〇	三、一九〇	二一、六六〇	四二、二九四
------	---	-------	--------	--------

合成窒素肥料ノ輸出入噸

年次	輸入	輸出
一九一三	三、三七八噸	七、八、六〇四噸
一九一四		
一九一五		
一九一六		
一九一七		
一九一八		
一九一九		
一九二〇		
一九二一		
一九二二	九、七二九	一九、八九二
一九二三	七、一一	一五、六一一
一九二四	一、一一	一七、五〇五
一九二五		

備考	一九二〇	一九二一	一九二二	一九二三	一九二四	一九二五
(一) 推定	二四〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	二三八、〇〇〇	三五〇、〇〇〇	三五〇、〇〇〇	三五〇、〇〇〇
(二) 三井物産株式會社ノ調査ヨリ						

地面積ノ大半ハ穀類栽培地ニシテ他ハ牧草、其ノ他農作物栽培地又ハ休閑地ナリ。家畜頭數ニ於テモ戰前戰後ヲ比較スルニ総頭數戰前三千六百万頭ナリシモノ一九二五年ニハ、三千五百萬頭トナリ、國土面積十平方料當リノ頭數ハ六百七十四頭ヨリ六百四十三頭ニ減少シタリ

伴蘭西ニ於テ最モ多量ニ使用サレル肥料ハ磷酸肥料ニシテ戰前ノ成分消費量ハ、四十一萬噸一ヘクタール當リ消費量一七、四噸ヲ示シ戰時中ハ一時減少シタルモ戰後漸次回復シ一九二五年ニハ、三十九萬噸、一ヘクタール當リ一七、二噸トナリ始メ戰前ニ接近スルニ至レリ。加里肥料ハ戰前無水加里トシテ僅カニ一萬噸一ヘクタール當リ〇、五噸ヲ消費シタリシニ戰後急速ナル發達ヲナシ一九二五年ニハ、十七萬噸一ヘクタール當リ七、四噸ヲ消費シタリ。窒素肥料ノ成分消費量ニ相當増加シ戰前ノ七萬噸一ヘクタール當リニ九噸ハ一九二五年ニハ、十一萬噸一ヘクタール當リ四、七噸ヲ消費スルニ至レリ。

磷酸肥料中最モ主要ナルハ過磷酸石灰ナリ。乃チ一九二五年ニ於ケル成分消費量ノ八割ニ分ハ過磷酸石灰ニシテ他ハ遠蓋磷肥、獸骨、骨粉等ニ依リ補給サルナリ。過磷酸石灰八年々其ノ生産額増加シ戰前百九十九萬噸ナリシガ、一九二五年ニハ、二百二十八萬噸ニ達シ其一割ヲ輸出シ他ハ之ヲ自國內ニ於テ消費ス。遠蓋磷肥ハ戰前七十三萬噸ヲ生産シ戰時中ハ皆無トナリシガ、戰後製鉄業ノ回復ト共ニ増加シ、一九二五年ニハ、百十三萬噸ニ達シタリ。之ト同時ニ輸出モ同一傾向ヲ辿リ、一九二五年ニハ、七十五萬噸ヲ輸出シタリ。乃チ自國生産額ノ約六割ヲ輸出シ残り四割ヲ消費

シツツアリ。

他ノ磷酸肥料トシテ獸骨、骨粉、グアノ等ハ全部輸入サルモ數量少シ。加里肥料ハ戰前自國內ニ於テ生産セザリシガ、戰後独逸ヨリアルサス州ヲ得テ以來同州ノ加里磁山ニ關スル法律案ヲ發布シ農民ノ利益ヲ図ルト共ニ生産増加ヲモ計畫シ、其ノ生産額八年々増加シ一九二五年ニハ、百五十六萬噸ニ達セリ。從ツテ戰前六萬五千噸ノ輸入額ハ、一九二五年ニハ八千噸トナリ輸出ハ急激ナル増加ヲ示シ戰前僅カニ、三千噸ナリシモノ一九二五年ニハ、七十二萬噸ニ達シタリ。乃チ同年ニ於ケル消費状況ハ生産額ノ四割餘ヲ輸出シ他ハ之ヲ消費シタリ。

窒素肥料ノ消費額モ戰前ニ比シ戰後相當ノ増加ヲ示シタレド其ノ半数以上ハ本國外圍ニ仰ギツツアリ。而シテ一九二五年ニ於ケル窒素肥料成分消費量十一萬噸中四割四分ハ智利硝石、四割二分ハ硫酸安母尼亞成リ一割四分ハ石灰窒素ニ依リ補給サレツツアリ。智利硝石ノ輸入額ハ戰時中一時五十二萬噸ニ達シタリシガ之ハ大部分大森原料トシテ使用セラレシモノニシテ一九二五年ノ消費額ハ、三十二萬噸ヲ示シ戰前ト異同状態ニ在リ。硫酸安母尼亞ノ生産額ハ戰前七萬噸ナリシガ戰後同團ハ窒素肥料ノ自給策ニ應ジクロード法ニ依ル合成安母尼亞製造計畫ヲ議會ニ於テ決議シ、尙政府ニ於テモ種々財長策ヲ講ジタル結果顯著ナル發達ヲ示シ一九二五年ニハ約十二萬噸ニ達シタリ。而ルニ一方輸入額モ亦年々増加シ一九二五年ニハ消費額ノ半数以上ヲ輸入シタリ。

石灰窒素モ同様自國生産額ノミニテハ需要ヲ滿タスニ足ラズ、一九二五年ニ於テハ其ノ大

半ハ外國ニ仰ギタリ。

戰時中佛蘭西政府ハ農業用化學製造中央事務局ヲシテ肥料並殺虫劑ノ需給ヲ監督セシメ、之等ノ取引其ノ他ニ關シ相當ノ制限ヲ設ケシガ林戰ト同時ニ制限ヲ解除シタリ。而シテ戰後前途ノ如ク加里肥料ノ需給ニ對シテ法律ヲ發シ、又窒素肥料ニ對シテハ特ニ留意シ前途ノ如ク議會ニ於テ合成安母尼亞製造ニ關シ決議ヲナシ又窒素肥料委員會ヲ設置スル等種々ノ助長策ヲ施シ以テ自給ヲ圖リツツアリ。

一 佛蘭西ニ於ケル農業一斑

(一) 國土面積及人口

年次	國土面積	人口
一九一三	五三六、四六四 平方里	三九、七九〇、〇〇〇 人
一九二一	五三六、四六四 平方里	七四、八七〇、〇〇〇 人

(二) 耕地面積

種別	一九一三		一九二一	
	面積	國土面積ニ對スル%	面積	國土面積ニ對スル%
耕地面積計	五三、六四六、四〇〇	一〇〇%	五五、〇九八、六〇〇	一〇〇%
穀類栽培地	二二、九二七、〇九二	四二・九%	二二、九〇五、六〇〇	四一・六%
牧草栽培地	一三、六一一、〇〇六	二四・五%	一一、四二九、三〇〇	二〇・九%

(三) 家畜頭數

種別	一九一三	一九二一
牛	五、一三〇、五八〇	五、一八一、三二五
馬	五、一八五、四〇六	六、二九四、九七五
猪	二二	二七

(三) 家畜頭數 (續)

種別	一九一三	一九二一
羊	一、八八三、八〇〇	一、八八三、三〇〇
山羊	一、四七七、七七一〇	一、四七七、九一〇
豚	一、四三三、四九七〇	一、三七七、九一〇
總計	三六、一八六、七三三	三五、四二二、四四〇

備考 (一)……………一九一〇

二 化學肥料ノ消費額

年次	國土面積		總額		加里肥料		窒素肥料	
	面積	總額	總額	總額	總額	總額	總額	總額
一九一三	五三、六四六、四〇〇	二、三九二、七〇九	二、六三三、三六〇	四一八、四三六	一、三三九	四三三、四七〇	七〇、四六九	
一九二一	五三、六四六、四〇〇	二、三〇一、七五五	二、四九八、四四三	二二八、四三三	一、〇、五	四四四、〇一四	七二、八二一	

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一七		四、八三六	六、四四〇	
一九一八		六、八三三	一四、七〇九	
一九一九		六、三五五	一〇、四〇八	
一九二〇		三三、八五三	一三、一五六	二〇、六九七
一九二一		四〇、七三一	一四、〇〇〇	二六、七三一

獸骨及骨粉

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	七三〇、〇〇〇	三三、七五〇	二三七、四九二	七三〇、〇〇〇
一九一四		九、九八一	四、三六七	五、六一四
一九一五		八二八	四、一〇一	
一九一六	七〇、〇〇〇	八二八	三五七	六九、七二九
一九一七	六四、一九四	一五	六六	六四、一四三
一九一八	二〇二、五〇八	一、八二五	四五、三五八	一五八、九七五
一九一九	三三三、二二五	一、一一一	一七、九〇九	三四四、四二七
一九二〇	三九一、六〇〇	三五、六四八	三一、二二四	一、一五、〇二四
一九二一	六一一、八二〇	二七、三二五	三〇、八三二	三三〇、八一九
一九二二	五八五、〇〇〇	四一、七一五	三三四、四〇五	三九二、三〇七
一九二三	九四五、二四五	四五、〇五〇	四六八、一二五	五二二、一七〇
一九二四	一、一三六、二〇〇	三、九二五	七五一、三八二	三八八、七四三

遠益燐肥

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	一、九二〇、〇〇〇	一〇〇、八二二	一四五、二二八	一、八七五、五九四
一九一四	一、〇八二、〇二一	四三、三六〇	一七、六四二	一、〇八八、九三一
一九一五	一、八四三、二七三	三九、六六七	一七、六四二	一、八八八、九七一
一九一六	二、四三三、〇〇〇	三九、六六七	一七、六四二	二、四三三、〇〇〇
一九一七	二、四三三、〇〇〇	三九、六六七	一七、六四二	二、四三三、〇〇〇
一九一八	二、九二二、〇〇〇	六、一七〇	二、六八三	二、九二二、〇〇〇
一九一九	二、〇八二、〇二一	一、二、〇六二	六、二〇九	二、〇八八、九三一
一九二〇	一、四四三、一五六	四三、三六〇	一七、六四二	一、三八〇、四九三
一九二一	一、三三二、八三八	三八、三四六	七五、四〇一	一、〇九五、七八三
一九二二	二、一三五、一三六	七八、六七六	一三〇、〇〇〇	一、一〇一、八一三
一九二三	二、三〇三、七八三	三〇、七八三	二二三、四五五	二、一〇一、八一三
一九二四	二、三八〇、五四二	二二、二八五	二二九、三六一	二、一七三、四六六

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九二二	五四、四〇四、七五九	三、七六五、三三四	一、四五六、八四四	五二、九〇三、二五五
一九二三	五四、四〇四、七五九	三、七六五、三三四	一、四五六、八四四	五二、九〇三、二五五
一九二四	五四、四〇四、七五九	三、七六五、三三四	一、四五六、八四四	五二、九〇三、二五五
一九二五	五四、四〇四、七五九	三、七六五、三三四	一、四五六、八四四	五二、九〇三、二五五

年次	加里肥料種類別輸入額				加里塩			
	硫酸	塩化	硝	ビートソルト	生産	輸入	輸出	消費
一九二五	一、五五九、四五〇	八、二二九	七、一七	八四九、九二一				
一九二四	一、三三八、〇七〇	九、五九二	七、〇〇、七八〇	六六六、八八二				
一九二三	一、二四三、五八〇	七、五四九	六、六八、一五一	五八二、九二八				
一九二二	一、三二六、七二六	五、二九七	六、〇三、六〇二	七二八、四二一				
一九二一	九〇三、一三四	一三、四一四	二、六八、二一一	六四八、三三六				
一九二〇	一、二二一、五一三	五、四六六	一、八三、九二七	六四三、〇五二				
一九一九	五九二、〇〇〇	三、九五六	三、五三二	五九二、四二四				
一九一八		三、四七三	三、〇二二	五九二、四二四				
一九一七		四、〇六五	六、二七	三、一七一				
一九一六		三、五八〇	二、六一	三、四三二				
一九一五		三、八三七	二、三八八	三、三一九				
一九一四		四、三三七	二、八二九	三、三一九				
一九一三		六、五〇九	三、一九二	六、一八八				
一九一二年次		六、五〇九	三、一九二	六、一八八				
備考								

年次	グアノ			
	生産	輸入	輸出	消費
一九二五				
一九二四				
一九二三				
一九二二				
一九二一				
一九二〇				
一九一九				
一九一八				
一九一七				
一九一六				
一九一五				
一九一四				
一九一三				
一九一二年次				
備考				

硝酸曹連

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	1	三二二、一一五	五、二六八	三二二、八四七
一九一四	1	二九七、一八〇	二、〇八一	二九五、〇九九
一九一五	1	二五四、〇〇八	二、一三八	二五一、八七〇
一九一六	1	五四〇、七〇〇	一、七九二	五二八、九〇八
一九一七	1	四五三、六六四	七、二二八	四四六、四三六
一九一八	1	二五六、五七二	四、四四〇	二二六、一三二
一九一九	1	一六六、一六九	四、一八八	一六五、七五一
一九二〇	1	二六一、三六四	二、三三八	二五九、〇二六
一九二一	1	三一四、〇三六	六、九六〇	三〇七、〇七六
一九二二	1	一六一、九六四	三、八四六	一五八、一一八
一九二三	1	二七三、八二二	二、二一四	二七一、六〇八
一九二四	1	二八二、一一六	一〇、五四六	二七一、五八〇

備考	一九二五	一九二四	一九二三	一九二二	一九二一	一九二〇	一九一九
	九四八	一、四二三	三、七三四	一、九一三	九三六	二四三	四〇
	七〇九、四七七	六九四、五七六	六六〇、〇九九	六一八、〇八二	二六五、二三一	一八二、七四五	二、九七〇
	六、三六一	四、一三三	四、一三三	一、四九三	九二〇	八一八	四六
	九七二	一四五	一四五	二、四〇二	一、一五五	一、一一一	四七六

加里肥料種類別輸出額

年次	硫酸加里	塩化加里	硝酸加里	ピートソルト
一九一三	七六八	一三四	七〇四	一、五八六
一九一四	六九六	七九	四九五	一、五五九
一九一五	一、六九九	三一七	一〇〇	二七二
一九一六	一五二	一八	九九	七三
一九一七	三七	四三五	九九	五六
一九一八	四八	二三四	二〇	〇

備考	一九二五	一九二四	一九二三	一九二二	一九二一	一九二〇	一九一九	一九一八	一九一七	一九一六	一九一五	一九一四	一九一三	
	三、四八八	五、〇四五	三、五二二	二、三九一	一、六一七	一、四五八	〇	〇	〇	〇	二九	一一〇	一、六四八	一五、二八四
	一三六	五二一	七四九	一、三一八	八、二四六	一、九二五	一、〇四八	一、二八五	一、四二四	三三七	六九九	三〇、三五二	四六、一三八	
	一、四九二	一五八	一五九	六四四	一、九六六	一、五二一	二、七八九	二、一八八	二、六四一	二、九九六	二九	二九一	七二	
	三、一一三	三、八六八	三、一一九	九四四	六一一	五六二	〇	〇	〇	一九八	〇	一、四四五	三、五九七	

年別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
一九二五年	一三、九二	一三、九二	一三、九二	一三、九二	一三、九二	一三、九二	一六、〇〇	一六、〇〇	一六、〇〇	一六、〇〇	一六、〇〇	一六、〇〇	一四、九六
一九二四年	一五、二〇	一五、二〇	一五、二〇	一五、二〇	一五、二〇	一五、二〇	一五、二〇	一五、二〇	一五、二〇	一五、二〇	一五、二〇	一五、二〇	一四、九六
一九二三年	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇
一九二二年	一六、八〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇	一三、六〇
一九二一年	三、六五	三、六五	三、六五	三、六五	三、六五	三、六五	三、六五	三、六五	三、六五	三、六五	三、六五	三、六五	三、六五

三、佛蘭西ニ於ケル肥料ノ價格
 (一) 遠益磷肥 (一六%) 單位 (百斤)

年別	備考	一九二五	一九二四	一九二三	一九二二	一九二一	一九二〇	一九一九	一九一八	一九一七	一九一六	一九一五	一九一四
一九二五年		五五、〇〇〇	五〇、〇〇〇	三九、〇〇〇	二九、〇〇〇	一三、七〇七	一五、一八九	二九、二九〇	三一、三二八	二四、五〇五	一三、七一三	三、六一〇	一四、六〇七
一九二四年		二九、四六〇	二一、五七一	七、八七七	七、三七三	一、六八二	六、三八九	八、五九二	九、二三三	七、九八五	二、四五八	三、八〇九	三、八〇九
一九二三年		一、四八八	一、四四五	五、三七九	一、一九一	一、一三三	一、一三三	六、三九五	五、五一一	三、九五	六、四	一、八、〇四三	一、八、〇四三
一九二二年		八二、九七二	七〇、四二六	六二、九二八	三一、四九八	二〇、八八九	二五、七三八	三九、九二〇	二七、三四三	一六、一八七	六、〇〇四	一、八、〇四三	一、八、〇四三
一九二一年													
一九二〇年													
一九一九年													
一九一八年													
一九一七年													
一九一六年													
一九一五年													
一九一四年													
一九一三年													
一九一二年													
一九一一年													
一九一〇年													
一九〇九年													
一九〇八年													
一九〇七年													
一九〇六年													
一九〇五年													
一九〇四年													
一九〇三年													
一九〇二年													
一九〇一年													
一九〇〇年													
一九〇九年													
一九〇八年													
一九〇七年													
一九〇六年													
一九〇五年													
一九〇四年													
一九〇三年													
一九〇二年													
一九〇一年													
一九〇〇年													

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	七四、五〇〇	二二、九九五	一、一五一	九六、三四四
一九一四	四二、〇〇〇	九、〇六五	一、三二四	七、七四一
一九一五	二五、〇〇〇	一〇、一一六	一、七五六	五〇、三六〇
一九一六	二五、〇〇〇	二一、二四六	一、四七五	四四、七七一
一九一七	三〇、〇〇〇	一三、五九九	八、九四	四六、七〇五
一九一八	三〇、〇〇〇	七、六九七	三、四一	三七、三五六
一九一九	四五、〇〇〇	二二、〇五八	二、九五	六六、七六三
一九二〇	五〇、〇〇〇	三七、五〇四	三、八七八	七九、六二六
一九二一	五二、〇〇〇	六七、九七八	三、九二九	一一六、〇四九
一九二二	六五、〇〇〇	七五、五七七	一、二〇八	一三九、三六九
一九二三	八八、五〇〇	八八、六三三	六、六三四	一五〇、四八九
一九二四	九九、五〇〇	一一一、〇五九	五、五八一	二一四、九七八
一九二五	一一七、〇〇〇	一二五、八四〇	八、八六二	二三三、九七八

年次	備考	一九二五
一九二五		三二六、三三〇
一九二五		三、一二七
一九二五		五二三、二〇三

一九二六年	米二〇、七〇	米二〇、七〇	米二〇、七〇	米二三、四〇	米二三、四〇	米二三、四〇	米二三、四〇	米二三、四〇	米二三、四〇	米二三、四〇	米二三、四〇	米二三、四〇	米二三、四〇	米二三、四〇
-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

(二) 加里 (含量一三一六%) 單位 (一成分) サンチム

年別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
一九二一年	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇
一九二二年	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇
一九二三年	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇
一九二四年	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇
一九二五年	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇
一九二六年	五五〇	五五〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	四九、二

五、伊太利

伊太利ノ國土面積ハ、三十一万平方料人口四千万、一平方料當リ百三十一人ニシテ相當網
密ナリ。耕地面積ハ國土面積ノ四割三分ヲ占メ其ノ半分ハ穀類栽培地ナリ。家畜総頭數ハ
二千四百萬頭ニシテ十平方料當リ七百八十七頭ナリ。
肥料消費額ハ未ダ少ク一ヘクタール當リ消費量ハ亞米利加合衆國ニ次イテ希薄ナリ伊
太利ニ於ケル肥料中最モ多量ニ使用サルルハ磷酸肥料ニシテ戰前ノ成分消費量ハ十七萬噸
一ヘクタール當リ一四担ヲ示シ戰時中並戰後一時減少ヲ示シタリシカ近年價格ノ低下ト

宣傳ニ依リ其ノ消費量ハ著シク増加シ一九二五年ニ於ケル成分
消費量ハ、二十二萬噸一ヘクタール當リ一六、七厘ニ達セリ。
磷酸肥料中最モ主要ナルハ過磷酸石灰ニシテ、一九二五年ノ成分消費量ニ十二萬噸中其九
割七分乃チ三十一萬噸ハ過磷酸石灰ニ依リ補給セラレ、残り三分ハ遠征磷酸ニ依リ補給サ
レツツアリ。過磷酸石灰ノ生産額ハ戰前九十七萬噸ニシテ一九一八年ニハ四十一萬噸ニ迫
減少シタリシガ、平和克復ト同時ニ回復シ一九二五年ニハ、百四十六萬噸トナリ戰前ニ比
スレバ實ニ五割ノ増加ヲ示セリ。同年ニ於ケル輸出ハ、四萬噸、輸入ハ二萬噸ニシテ百四
十四萬噸ヲ消費ス。
遠征磷酸ハ全部輸入セラルルモノニシテ戰前十二萬噸輸入セラレシガ、戰時中ハ輸入杜絶
シ戰後再ビ輸入ヲ見ルニ至リシガ、戰前ニ比スレバ少ク一九二四年ニハ、八万七千噸一九
二五年ニハ、三萬噸ヲ輸入シタリ。
加里肥料ハ他國同様全部独逸ヨリ輸入サルモノノ量ハ僅少ニシテ戰前一万六千噸ナリシガ
戰後ニ於テハ漸次増加シ一九二五年ニハ、五万一千噸トナレリ。然レドモ一ヘクタール當
リ消費量ハ無水加里トシテ僅カク七厘ニ過ぎズ。加里肥料ノ前途尚遠征ト云フベシ。
戰前伊太利ニ於ケル窒素肥料ノ成分消費量ハ約二萬噸一ヘクタール當リ成分消費量一五厘
ナリシガ戰時中一時減少シタルモ戰後再ビ増加シ初メ一九二五年ニ於テハ二万七千噸一ヘ
クタール當リ二一厘ヲ消費セリ。之ヲ種類別ニ視ルニ戰前ニ於テハ智利硝石ノ五割、硫酸
安母尼亞ノ四割、石灰窒素ノ一割ノ割合ニ在リシガ一九二五年ニ於テハ智利硝石ニ割五分
硫酸安母尼亞ニ割六分、石灰窒素ニ割九分ニ變化シ智利硝石ノ著シキ減少ニ對シ石灰窒素

一於テハ約三倍ノ増加ヲ見タリ。尙自國ノ窒素工業ヲ保護スル爲メ肥料用智利硝石以外ノ他ノ窒素肥料ニハ輸入税ヲ賦カシツアリ。

伊太利ノ石灰窒素工業ハ戰時中最大ノ生産能力ヲ發揮シ戰後ニ於テモ大規模ノ計畫相次イデ完成シ戰前一万四千噸ノ生産額ハ最近ニ於テ四万七千噸ニ達スルニ至レリ。

伊太利ニ於ケル石灰窒素製造會社ハ四社アリ、之等ノ生産能力合計八年約八万二千噸ニ達スルヲ以テ生産能力ノ約六割ヲ發揮スルニ過ギズ。伊太利ニ於ケル智利硝石ハ農家ニ普及シ居リ其ノ根底モ深キヲ以テ之等會社ノ生産スル石灰窒素ハ智利硝石ニ酷似セシムル爲メ製造品ニ砂ヲ混ジ窒素含量ヲ一五・一六パーセントニ保ツモノアリト云フ。

硫酸安母尼亞ノ生産額ハ戰前一万三千噸ニシテ輸入額ハ二万一千噸ナリシガ一九二五年ニ於テハ輸入額ハ戰前同様二万一千噸ヲ保チ居レド生産額ハ、二万八千噸約二倍餘トナレリ。乃チ同年ニ於ケル消費額ノ五割六分ハ自國ニ於テ生産シ四割四分ヲ輸入シツツアリ。之等國内生産硫酸安母尼亞ノ半量ハ瓦斯工業、酸炭工業ノ副産物ニシテ他ハカザレー法ニ依リ合成サルルモノナリ。而シテ前記生産増加ハ合成法ニ依ル硫酸安母尼亞ノ増加ノ爲メニシテ今後ニ於テモ益々増加ノ傾向ヲ辿リツツアリ。

智利硝石ハ戰前六万七千噸ヲ輸入シ最近ニ於テモ戰前ト同様六万四千噸ヲ輸入シ、硫酸安母尼亞、石灰窒素等ノ消費増加セルモ尙伊太利ノ窒素肥料中主要部ヲ占ム。

一、伊太利ニ於ケル農業一斑

(一) 國土面積及人口

種別	年次	面積	人口
國土面積	一九二五	二八六、六一〇 平方千米	三、一〇、〇九〇 千人
人口	一九二五	三五、五九七、七八四人	四〇、五四七、八三九人
一平方千米當人口		一二四人	一三一人

(二) 耕地面積

種別	年次	面積	耕地面積計	國土面積ニ對シ%
國土面積	一九二五	二八六、六一〇 平方千米	一、〇〇〇、〇〇〇 平方千米	一〇・〇%
耕地面積計	一九二五	一三、八八四、九三五 平方千米	三、一〇〇、〇〇〇 平方千米	一三・二七、〇〇〇%
穀類栽培地	一九二五	七、三三〇、三五〇 平方千米	一、三二七、〇〇〇 平方千米	一三・二七、〇〇〇%
牧草栽培地	一九二五	二、五二八、二九〇 平方千米	七、一七九、三〇〇 平方千米	一三・二七、〇〇〇%
其他作物栽培地	一九二五	三、〇二六、二九五 平方千米	二、一九九、八〇〇 平方千米	一三・二七、〇〇〇%
耕地面積計	一九二五	一三、八八四、九三五 平方千米	三、一〇〇、〇〇〇 平方千米	一三・二七、〇〇〇%
國土面積	一九二五	二八六、六一〇 平方千米	一、〇〇〇、〇〇〇 平方千米	一〇・〇%

(三) 家畜頭數

種別	年次	頭數	一〇〇〇ヘクタール當頭數	人口一〇〇〇人當頭數
總計	一九二五	二、五四七、〇〇〇 頭	八八七頭	七・一四頭
馬	一九二五	二、三三〇、〇〇〇 頭	七八七頭	六・三三頭
驢	一九二五	一、二一七、〇〇〇 頭	一、二一七頭	一、二一七頭
騾	一九二五	一、〇〇〇、〇〇〇 頭	一、〇〇〇頭	一、〇〇〇頭

畜種	飼料	備考
牛	六、六四六、〇〇〇	
羊	一、三二二、〇〇〇	
豚	二、七二二、〇〇〇	
其他	四八二	
合計	一〇、七七〇、〇〇〇	

二、化學肥料消費額

年次	國土耕地面積	總額	磷肥		加量肥料		窒素肥料	
			總量	分量	總額	分量	總額	分量
一九一三	二八、六六〇、〇〇〇	一、〇九一、五七三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、六九六、五	三、三九三	一、一七三、九二	一九、六五九
一九一四	三〇、八七〇、〇〇〇	八六〇、三三三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	七〇七	一、四〇一	一、一七三、九二	一、六五九
一九一五	三〇、九八七、六〇〇	九一〇、九〇八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、二五五、四三	二、五〇九	九、五〇二	一、五〇八
一九一六	三〇、九八七、六〇〇	一、一七五、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、二八五、五	六、五七一	一、二五五、〇二八	二、〇八四
一九一七	三〇、九八七、六〇〇	一、一七五、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、二八五、五	六、五七一	一、二五五、〇二八	二、〇八四
一九一八	三〇、九八七、六〇〇	一、一七五、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、二八五、五	六、五七一	一、二五五、〇二八	二、〇八四
一九一九	三〇、九八七、六〇〇	一、一七五、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、二八五、五	六、五七一	一、二五五、〇二八	二、〇八四
一九二〇	三〇、九八七、六〇〇	一、一七五、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、二八五、五	六、五七一	一、二五五、〇二八	二、〇八四
一九二一	三〇、九八七、六〇〇	一、一七五、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、二八五、五	六、五七一	一、二五五、〇二八	二、〇八四
一九二二	三〇、九八七、六〇〇	一、一七五、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、二八五、五	六、五七一	一、二五五、〇二八	二、〇八四
一九二三	三〇、九八七、六〇〇	一、一七五、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、二八五、五	六、五七一	一、二五五、〇二八	二、〇八四
一九二四	三〇、九八七、六〇〇	一、一七五、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、二八五、五	六、五七一	一、二五五、〇二八	二、〇八四
一九二五	三〇、九八七、六〇〇	一、一七五、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、二八五、五	六、五七一	一、二五五、〇二八	二、〇八四

通磷酸石灰

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	九七二、三一七噸	一噸	一噸	九七二、三一七噸
一九一四	九二四、七三六噸	一噸	一噸	九二四、七三六噸
一九一五	九一一、一九〇噸	一噸	一噸	九一一、一九〇噸

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一六	八六七、六九〇	一、五八四	二、五〇〇	八六六、七七四
一九一七	四八九、〇〇〇	九五	八九五	四八八、一〇五
一九一八	四一四、八〇〇	九五	一九二	四一四、八九〇
一九一九	七一四、四〇〇	九五	一九二	七一六、二〇五
一九二〇	六二六、七〇〇	一	一	六二六、七〇〇
一九二一	八五〇、〇〇〇	一	一	八五〇、〇〇〇
一九二二	八八〇、〇〇〇	一	一	八八一、三四三
一九二三	一、〇〇〇、〇〇〇	一	一	一、〇〇七、〇九八
一九二四	一、三四〇、〇〇〇	一	一	一、三四五、〇七五
一九二五	一、四六五、〇〇〇	一	一	一、四四四、七六八

遠産磷肥

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	一噸	一一九、二五七噸	一〇三噸	一一九、一五四噸
一九一四	一噸	二二、二二四噸	一噸	二二、二二四噸
一九一五	一噸	一、一八〇噸	一噸	一、一七〇噸
一九一六	一噸	二、七一六噸	一噸	二、七一六噸
一九一七	一噸	一、〇〇〇噸	一噸	一、〇〇〇噸
一九一八	一噸	七、五四一噸	一噸	七、五四一噸
一九一九	一噸	一、三三六噸	一噸	一、三三六噸
一九二〇	一噸	九、五九〇噸	一噸	九、五九〇噸
一九二一	一噸	一噸	一噸	九、五九〇噸

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一七	1	一、四九三	一、八五	一、三〇八
一九一八	1	一、〇二四	五三一	四九三
一九一九	1	二、四七〇	五六九	一、九〇一
一九二〇	1	一〇、二四七	三〇一	九、九四六
一九二一	1	一六、九七三	八〇一	一六、九六五

加里塩

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	1	一〇、六六	一〇、六六	一〇、六六
一九一四	1	一四、四六	八、〇三	一四、四三
一九一五	1	七、七二	一、七四三	九、二二
一九一六	1	一四、八	九、二二	一三、六
一九一七	1	九	七、六	一三、六
一九一八	1	1	1	1
一九一九	1	1	1	1
一九二〇	1	1	1	1
一九二一	1	1	1	1
一九二二	1	1	1	1
一九二三	1	1	1	1
一九二四	1	1	1	1
一九二五	1	1	1	1

少アノ

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九一三	1	五、六三〇	七、〇二八	1
一九一四	1	二、九五三	四、五八五	1
一九一五	1	二、一五九	一、四八	二、〇一一
一九一六	1	二、五七八	一、四八	二、五一一
一九一七	1	八、六四	三、一九	五、四一五
一九一八	1	九、三	二、四九	1
一九一九	1	一、〇二五	三、一九	一、〇二二
一九二〇	1	一、九四六	三、一	一、九一五
一九二一	1	八、七二	一、〇九	七、六三
一九二二	1	七、八九	一、五五七	1
一九二三	1	九、八九	八、一一	一、七七八
一九二四	1	二、七五五	九、〇六	八、四九
一九二五	1	二、四一七	二、四〇六	1

獸骨及骨粉

年次	生産額	輸入額	輸出額	消費額
一九二二	1	二九、五六五	1	二九、五六五
一九二三	1	六八、七七七	二七五	六八、五〇二
一九二四	1	八七、七九〇	一、六九六	八六、〇九四
一九二五	1	三一、六二七	一七	三一、六一〇

年次	シヤナシド													
	備考	一九二五	一九二四	一九二三	一九二二	一九二一	一九二〇	一九一九	一九一八	一九一七	一九一六	一九一五	一九一四	一九一三
生産額		二八、〇〇〇	一八、〇〇〇	一三、〇〇〇	一〇、三〇〇	五、五九〇	八、〇四三	六、五四〇	一三、四〇〇	九、〇〇〇	一五、〇〇〇	一四、六九九	一四、三三四	一三、四二八
輸入額		二一、七一	二二、四九五	一五、八九七	一〇、三〇一	四、四五五	七、〇五八	四、七三三	二、四六四	三、三三三	二、八二四	七、六〇一	一三、一一〇	二一、六六九
輸出額		六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五五
消費額		四九、七一	四〇、四九五	二八、八九七	二一、三四一	一〇、〇四一	一五、二七三	一五、八六四	九、三三三	一七、八二四	二二、二一九	二七、四二六	三五、〇四二	三五、〇四二

硫酸安母尼重

備考	一九二五	一九二四		
生産額	一	一		
輸入額	六四、三〇九	五五、五二六		
輸出額	三四	一二五		
消費額	六四、二七五	五五、四〇一		

年次	硝酸曹達													
	備考	一九二五	一九二四	一九二三	一九二二	一九二一	一九二〇	一九一九	一九一八	一九一七	一九一六	一九一五	一九一四	一九一三
生産額		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
輸入額		五一、八三三	三九、三二一	二〇、八八一	四七、六九三	一二、八六八	九七、〇一二	一〇四、一五〇	八五、六四九	七一、七三〇	五九、八五〇	六七、四一八	六七、四一八	六七、四一八
輸出額		二	一	五四八	五一三	一	一	一	一	一	一	一	一	一七九
消費額		五一、八三一	三九、三二一	二〇、三三三	四七、六四二	一二、八六五	九七、〇一二	一〇四、一五〇	八五、六四九	七一、七三〇	五九、八五〇	六七、四一八	六七、四一八	六七、四一八

農務局報目録

号	書名	発行年月	発行所	定價	郵便
第一號	橋樹銀ヨリ納糧ノ製造方法(其一)	大正四年九月	〃	〃	〃
第二號	水産品種改良ニ關スル參考資料	大正五年六月	〃	〃	〃
第三號	柑橋銀ヨリ納糧ノ製造方法(其二)	大正六年九月	〃	〃	〃
第四號	米産貯蔵ニ關スル參考資料	大正七年八月	〃	〃	〃
第五號	大正六年度産物改良増進ニ關スル參考資料	大正八年九月	〃	〃	〃
第六號	主要食糧産物改良増進ニ關スル參考資料	大正八年九月	〃	〃	〃
第七號	茶園ニ關スル調査	大正八年九月	〃	〃	〃
第八號	茶業要覽	大正八年九月	〃	〃	〃
第九號	穀物倉庫ノ建築要綱	大正八年九月	〃	〃	〃
第十號	天登特登ノ穀子病ニ關スル調査	大正八年九月	〃	〃	〃
第十一號	府縣ニ於ケル米麥多收獲促進會ニ關スル規則一覽	大正九年四月	〃	〃	〃
第十二號	主要食糧産物品種改良事業要覽	大正九年四月	〃	〃	〃
第十三號	穀類ノ燃料ニ用フル方法	大正九年四月	〃	〃	〃
第十四號	日本内地ニ於ケル主要食糧産作物ノ生産貿易及市場要覽	大正九年四月	〃	〃	〃
第十五號	米穀要覽	大正九年四月	〃	〃	〃
第十六號	肥料要覽	大正九年四月	〃	〃	〃
第十七號	園藝要覽	大正九年四月	〃	〃	〃
第十八號	糖業要覽	大正九年四月	〃	〃	〃
第十九號	糖ニ化性類聚除糖防害指針	大正九年四月	〃	〃	〃
第二十號	日本内地ニ於ケル主要工業農産物要覽	大正九年四月	〃	〃	〃
第二十一號	大豆其ノ他ノ豆類要覽	大正九年四月	〃	〃	〃
第二十二號	菜園ニ關スル調査	大正九年四月	〃	〃	〃
第二十三號	茶業統計摘要	大正九年四月	〃	〃	〃
第二十四號	茶業組合經營事例	大正九年四月	〃	〃	〃
第二十五號	園藝業ニ關スル組合事例(其一)	大正九年四月	〃	〃	〃
第二十六號	道府縣各地方米麥産物ノ品質調査結果及品質改良ノ方策(其ノ一)	大正九年四月	〃	〃	〃
第二十七號	米産貯蔵ニ關スル調査	大正九年四月	〃	〃	〃

備考	一九二五	一九二四	一九二二	一九二一	一九一九	一九一八	一九一七	一九一六	一九一五	一九一四	一九一三
	四七、〇〇〇	五二、〇〇〇	四四、三〇〇	三〇、八四〇	二一、三八〇	一六、八〇〇	九、六九〇	二五、一〇五	二五、二九二	一五、五五六	一四、九八二
			五、五一五	八九四							噸
	三六、二九三	一九、〇四四									噸
											噸
											噸
											噸
											噸
											噸
											噸
											噸
											噸
											噸
											噸

第二十八號	主要食糧農産物改良増進奨励規則ニヨリ奨励金ヲ交付シタル事業要覽	同	大正十三年一月	〃
第二十九號	肥料要覽	同	大正十三年三月	〃
第三十號	糖業要覽	同	大正十三年八月	〃
第三十一號	長期貯藏(夏越シ得ルモノ)ニ適スル米ノ栽培程度ニ關スル研究成績概要	同	大正十三年二月	非賣品
第三十二號	茶葉、他穀物要覽	同	大正十三年二月	總版
第三十三號	肥料要覽	同	大正十三年二月	〃
第三十四號	糖業要覽	同	大正十三年二月	〃
第三十五號	日本内地ニ於ケル主要工農農産物要覽	同	大正十三年二月	非賣品
第三十六號	園藝業要覽	同	大正十三年三月	〃
第三十七號	茶業要覽	同	大正十三年六月	〃
第三十八號	豆類要覽	同	大正十四年七月	〃
第三十九號	甘藷馬鈴薯及粉要覽	同	大正十四年二月	〃
第四十號	肥料要覽	同	大正十四年二月	〃
第四十一號	穀物検査事業要覽	同	大正十四年七月	〃
第四十二號	穀物検査事業要覽	同	大正十四年七月	〃
第四十三號	日本内地ニ於ケル主要工農農産物要覽	同	大正十四年一月	〃
第四十四號	穀物検査事業要覽(第二號)	同	大正十五年一月	〃
第四十五號	主要食糧農産物改良増進奨励事業要覽	同	大正十五年一月	〃
第四十六號	穀物検査事業要覽(第三火)	同	大正十五年一月	〃
第四十七號	肥料改良奨励事業ニ關スル調査	同	大正十五年一月	〃
第四十八號	主要改良肥料ニ關スル調査	同	大正十五年一月	〃
第四十九號	糠及米穀樹皮燻燥状況	同	大正十五年一月	〃
第五十號	園藝業要覽	同	大正十五年一月	〃
第五十一號	茶葉、他穀物要覽	同	大正十五年一月	〃
第五十二號	肥料要覽	同	大正十五年一月	〃
第五十三號	豆類要覽	同	大正十五年一月	〃
第五十四號	世界主要國ニ於ケル化學肥料ノ供給状況	同	大正十五年一月	〃
第五十五號	世界ニ於ケル製糖工業	同	大正十五年一月	〃
第五十六號	本邦並諸外國ニ於ケル肥料取締法規	同	大正十五年一月	〃

同	大正十三年十一月	〃
同	大正十三年一月	〃
同	大正十三年三月	〃
同	大正十三年八月	〃
同	大正十三年二月	非賣品
同	大正十三年二月	總版
同	大正十三年二月	〃
同	大正十三年三月	〃
同	大正十三年六月	〃
同	大正十四年七月	〃
同	大正十四年二月	〃
同	大正十四年二月	〃
同	大正十四年七月	〃
同	大正十五年一月	〃
同	大正十五年一月	〃
同	大正十五年一月	〃
同	大正十五年一月	〃
同	大正十五年一月	〃
同	大正十五年一月	〃
同	大正十五年一月	〃
同	大正十五年一月	〃

昭和二年六月二十七日印刷
昭和二年六月三十日發行

農林省農務局

印刷者 中 平 義 次
東京市外龍野川町中里二九四番地

緒言

本書ハ一九二四年羅馬萬國農事協會ノ出版ニ係ルコト世界ニ於ケル化學肥料ノ生産ト消費ニ並同協會ノ農事統計ヲ基本トシテ編纂セルモノニシテ世界主要國ニ於ケル化學肥料ノ需給状況ノ大要及戰時並戰後各國政府ノ採リタル肥料供給方策又ハ各國肥料界ノ新計畫、及趨勢ニ付キ其ノ概要ヲ記述セルモノナリ

昭和二年六月

農林省農務局

14.2
373

終

